

事項八 「カナダ」ニ於テ本邦移民排斥關係一件

二四八 二月八日 在ヴァンクーヴァー阿部領事ヨリ
石井外務大臣宛

英領コロンビア州議會開會ニ関シ報告ノ件

公第二四号 (三月二十日接受)

大正五年二月八日

在晚香坡

領事 阿部 嘉八(印)

外務大臣男爵 石井菊次郎殿

二月三日発行ビィシー州官報ヲ以テ当州々議會ハ来ル三月三日開會スヘキ旨公表セラレ候政界ニ於テ一般ノ予期スルトコロニテハ今期議會ハ短時日ナルヘシト雖モバウザー氏州首相トナリ内閣ノ一部改造セラレテヨリ第一回ノ州会ナルカ故ニ新政府ノ施政方針其ノ他重要ナル法案提出セララルヘシト予想セララル
右及報告候 敬具

本信写送付先 在オタワ総領事 在英大使

二四九 二月十九日 在ヴァンクーヴァー阿部領事ヨリ
石井外務大臣宛

州議員補欠選挙ニ際シ東洋人排斥ニ関スル件

公第二五号 (三月二十日接受)

大正五年二月十九日

在晚香坡

領事 阿部 嘉八(印)

外務大臣男爵 石井菊次郎殿

州議員補欠選挙期日切迫ノ為メ保守自由両党政争ニ東洋人排斥ヲ唱導シ居リ候ニ付大略別紙ノ通り及報告候間御査閱相成度候 敬具
本信写送付先 在オタワ総領事 在英大使
(別紙)
州議員補欠選挙ニ関シ東洋人排斥ニ関スル件

一昨年歐洲開戦以來暫ク鎮静セル東洋人排斥モ州議員補欠選挙期日ノ本月二十六日ト決定スルヤ保守自由両党政戦漸

ク激烈トナリ之カ為メ再ヒ好個ノ政策トシテ両党頻リニ白人ノビィシー、東洋人排斥ヲ唱導シ以テ選挙民ノ歡心ヲ得ムコトニ致々汲々タリ本月八日当市保守党ノ集会ニ於テ市参事会員「フランク、ウッドサイド」ハ東洋人排斥ニ関シ強硬ナル演説ヲ為シ其ノ決議文中ニハ当州ハ白人ノ国土タルコトヲ希望シテ人口増殖ヲ要求スルモノナリト記シ又吾カ製材工場ニ東洋人使傭ヲ禁止スヘシトナシ鉦山溶鉦所等ニ外国人ヲ使傭スルコトニ反対シ猶又亞細亞人其ノ他ノ外国人漸次増加シ来リ当国ノ青年カ職ヲ得ムトシテ合衆国ニ赴クモノ接踵スルノ現状ニアリト二月九日自由党候補者「エム、エー、マクドーナルド」亦政見ヲ發表シ特ニ東洋人使傭問題ニ言及シ白人ノ「ビィシー」州政策ニ従来保守党ハ何ノ成果ヲ挙げ得タリヤ保守党員ハ排亜細亞人ヲ叫ブモ例ニ依リテ世間ヲ糊塗スル常套語ニシテ首相バウザー氏ノ記録ヲ見ハ思半ハニ過クルモノアラム氏ハ常ニ白人ノ「ビィシー」州ヲ標榜スルニ拘ラス毫モ成績ヲ挙げケス加之東洋人ノ群来ハ「ロリエー」政府ノ為セル所ナリト攻撃シテ世人ノ感情ヲ煽リシコト一再ニ止ラス而モ州内ノ東洋人数ハ漸次増加シ来リ白人労働者ノ職ヲ襲ヒ殊ニ政府カ支配シ得ル

鉦山方面ニ於テ然ルモノアリ信号モ警告ヲモ判読スルコト能ハサル労働者ノ多数ヲ使傭スルハ違法行為ニシテ殊ニ「マッケンジー」「マン」ノ管下ニ属スル鉦山ニ行ハレ居レリ支那人ニ関シテハ五百弗ノ人頭税ノ半額ハ国庫ノ収得タルコト人ノ知ル所ナリトノ近時支那人入国ノ数ヲ挙げ又本邦移民ニ関シ陳ヘテ曰ク日本移民ニ就テハ領政府ハ一年四百人トノ制限ヲ為シ居レルカ「ポーテン」政府カ此方針ヲ続ケ居ルニ何等ノ抗議モ為サレタルコトナシ然レトモ本問題ハ領ノ見地ヨリモ寧ろ州ノ見地ニ重キヲ置クモノト言フヘク「バウザー」政府ハ此責任ヲ脱ルルコト能ハサルヘシ州内ニ東洋人使傭ノコトヲ實際的ニ奨励ハセストスルモ消極的責任アリト言フヲ得ヘシ經濟見地、白人労働問題ヨリ離レテ吾人ハ不幸ニシテ近来晚香坡ニ生命保護ノ為メ極度ノ注意ヲ要スルノ実例ニ遭遇セリトテ「カムバーランド」炭坑ニ於ケル邦人労働者ノ数ヲ挙げ此形勢ニシテ底止スルコトナクムハ之レ等諸方面ノ商業ハ漸次東洋人ニ勢力ヲ移シ而モ彼レ等ノ生活標準ハ州ノ開發ニ寄与スルコト甚タ僅少ナルハ明白ナリト「カムバーランド」ニ於ケル日本人並ニ支那人ノ商業状態ヲ述ヘ其ノ他「ナナイモ」

「レデーミス」等同様ノ状況ニアリトテ盛ニ亜細亜人排斥ヲ言説セリ

更ニ保守党ハ演説ニ印刷物ニ之ヲ弁難攻撃シ暫ク鎮静セル
亜細亜人排斥唱導セラレ自由保守両党カ選挙民歡心獲得ノ
具ニ供サレツツアリ

二五〇 二月二十六日 在ヴァンクーヴァー阿部領事ヨリ
石井外務大臣宛

州議會ニ於ケル邦人問題ニ関スル討議予想ノ
件

公第二六号 (三月二十日接受)

大正五年二月二十六日

在晚香坡

領事 阿部 嘉 八 (印)

外務大臣男爵 石井菊次郎殿

来ル三月二日ヨリ開会セラルベキ州議會ニ於テハ曩キニ当
州内閣交渉ノ結果トシテ二三排日的法案ノ提出セラル、無
キヲ保シ難キモ刻下ノトコロ問題トナリ居ルモノ一モ無之
其開会後ノ状況ニ関シテハ時々報告可致候ヘ共今議會ニ於
テ邦人問題ニ関スル討議ノ有無予想ニ関シ取不致別紙報告

黨員ノ排斥言議ニ対シテハ極力之ヲ防遏シタルカ如キ未ダ
見ザル処ナリキ素ヨリ斯クノ如キハ一時的ノ現象ト見ルヲ
至当トスベキモ客冬突如トシテ内閣ニ變動アリ氏ハ去ツテ
倫敦ニ赴キ検事総長バウザーガ内閣ヲ組織スルニ至リ政府
当局者ノ意嚮多少變動ナキ能ハサルモノ、如シ新内閣亦素
ヨリ保守党ナルヲ以テ従来ノ政策ト差シタル変更アラサル
ベシト雖只考量ヲ要スルハ前首相カ昨年以來最モ熱心ニ邦
人問題ニ対シ好意ヲ表シタルニ引換ヘ新首相ハ嘗ニ本問題
ニ関シ好意ヲ表サ、ルノミナラズ其ノ経歴上積極的ニ排斥
ヲ断行シ加フルニ州総選挙ヲ眼前ニ控ユルヲ以テ致々トシ
テ党勢拡張ニ努メツ、アリ故ニ苟モ些細ノ問題ニ関シテモ
人氣ニ投スルガ如キモノハ之ヲ提出スヘク殊ニ投票ノ多数
ヲ占ムル労働者側ノ鼻息ヲ窺ヒ居ルコトモ事実ナレハ昨年
同様二三排日的法案ノ提出セラル、無キヲ保シ難シ然レト
モ刻下ノトコロ問題トナリ居ルモノ一ツモナシ

二五一 三月三日 在ヴァンクーヴァー阿部領事ヨリ
石井外務大臣宛 (電報)

英領コロンビア州議會開会ノ件

第一一号

差進候条御査閱相成度此段申進候 敬具

(別紙)

来ルベキ州議會ニ於テ邦人問題ニ関スル討議ノ有
無予想ノ件

從來当地方ニ於テハ多年東洋人排斥問題ノ唱導セラレ各新
聞雜誌等保守自由両党孰レノ機關紙タルヲ問ハズ常住不断
東洋人ノ排斥ヲ唱フルニ日モ足ラス地方政客ハ其ノ人心ヲ
得ルニ好個ノ題目トシテ之レヲ唱導シ殊ニ総選挙前等ニア
リテ其ノ最モ甚ダシキモノアリタリ然ルニ今回歐洲大戦ノ
勃發以來各紙一斉ニ筆ヲ収メテ排斥ヲ唱導セサルノミナラ
ズ地方ノ政客又口ヲ緘シテ語ラズ而シテ州当局者ニアリテ
モ邦人ニ対シテ曾テ見サルノ好感ヲ呈シタリ前首相マクプ
ライドノ如キ曾テハ邦人排斥ノ先驅ニシテ或ハ鉄道会社ト
其工事ニ際シ邦人労働者ヲ使用セザルヲ約シ或ハ森林伐採
ニ邦人使傭ヲ禁止スル等嚴烈至ラザル無ク就中森林伐採ニ
関スル問題ノ如キ領政府ヨリノ忠言等ニ対シテハ一切耳ヲ
傾ケズ強硬ニ邦人ヲ排斥シ要スルニ氏ノ当局十二年終始一
貫東洋人排斥ヲ唱導シタルニ大戦勃發以來突如トシテ邦人
ニ対シ好感ヲ呈スルニ至リ客年州議會開会中ノ如キモ社会

British Columbia 州議會三月三日開院式舉行ス総選挙ヲ
控ヘ政略上排日法案ノ提出ナキヲ保シ難シ
在オタワ総領事ヘ電報セリ

二五二 三月九日 在ヴァンクーヴァー阿部領事ヨリ
石井外務大臣宛

州議會補欠選挙当選者報告ノ件

公第六一号 (四月四日接受)

大正五年三月九日

在晚香坡

領事 阿部 嘉 八 (印)

外務大臣男爵 石井菊次郎殿

当州々議員補欠選挙晚香坡市選挙区及ロックスランド市選挙
区ハ二月二十六日ヴィクトリア市選挙区ハ三月四日夫々予
定ノ如ク施行セラレタリ当市ニ於テハ客年十二月マクプ
ライド前首相辞職ノ當時土木鉄道大臣テラーノ後ヲ継キタ
ル保守黨員キー、シー、テスダル、自由黨員エム、エー、
マクドーナルド労働黨員前晚香坡市長エル、デー、テラー
一角逐セシモ「テラー」ハ言フニ足ラス結局「テスダ
ル」、「マクドーナルド」ノ争ニシテ両党共ニ政戦激烈現首

相「パウザー」ハ「テスダル」ノ為ニ応援至ラザルナク自由党側ニアリテハ当市知名ノ弁護士「サー、チャールズ、タッパー」氏之ヲ応援セリ由來当州政界ハ保守党ノ勢力強大ニシテ同党ノ政權ヲ獲得セル以來已ニ十有三年議員中社会黨員二名ヲ除クノ外全部悉ク保守党ニシテ一人ノ自由黨員ヲ見ス而シテ晚香坡市ハ保守党ノ中心地トモ目サレシニ不拘今回突如トシテ自由党マクドーナルド四千百六十票ノ大差ヲ以テ「テスダル」ヲ凌グニ至レリ

ロックスランド市選挙区ニ於テハ前頭「テスダル」ト同時ニ鉱務大臣ニ任命セラレタル「ローン、キャムベル」ト自由黨員ニシテ同市々長タル「ウイルソン」兩人ノ角逐ニシテ九票ノ差ヲ以テ僅カニ「キャムベル」ノ勝利ニ帰シ而シテ「ヴィクトリア」市選挙区ニ於テハ同シク大蔵大臣「エーシー、フランマーフェルト」対自由党首領「ブルースター」ノ角逐ニシテ已ニ晚香坡市ニ於テ保守党敗レ「ロツスランド」市ニ於テハ僅ニ保守党ノ勝利ヲ見タル際ナレハ最も世人ノ注目ヲ惹キタルニ之亦晚香坡市ト同シク二千三百九十七票ノ大差ヲ以テ自由党ノ勝利ニ帰シ土木大臣「シー、イー、テスダル」ハ三月一日大蔵兼農務大臣「エー、

シー、フランマーフェルト」ハ三月六日州知事ニ對シ夫々辞表ヲ提出シ土木大臣ノ後任ハ州秘書官兼文部大臣「トーマス、テラー」ノ兼任スルトコロトナリ大蔵大臣ハ「パウザー」首相之ヲ兼ヌルコト、ナリタリ

要スルニ今回保守党ノ敗戦ハ事甚タ意外ニシテ一般ノ予期セザリシトコロ然レトモ保守党カ政權ヲ得テ以來已ニ十有余年現ニ州議會ニ於テ自由党ノ議席一モ有ル無ク人心稍々倦怠ノ色モアルト同時ニ今回候補ヲ争ヒタル「ブルースター」ハ当州ノ自由党ノ首領ニシテ「マクドーナルド」亦同党中ノ錚々タル人物ナリ加フルニ一方社会党労働党ノ応援アリ而シテ今回補欠選挙ノ結果カ来ルヘキ州総選挙ニ如何ナル影響ヲ及ボスベキヤハ今遽カニ予知シ難シト雖現首相「パウザー」カ同党前首領「サー、リチャードマクブライド」ノ如ク円熟ナラス一面政敵尠カラサルト同時ニ衆望ヲ担フコト亦前者ニ比シテ遙カニ劣ルモノアリ頃日巷間氏ノ辭職ヲサヘ伝フルモノアレハ仮リニ総選挙ニ際シテ保守党ノ勝利ニ帰スルトスルモ從來ニ於ケルカ如キコトナカルヘシト予想セラル而シテ東洋移民問題ニ関シテハ兩党共ニ好個ノ題目トシテ之カ排斥ヲ標榜スルカ故ニ其ノ論難ハ奇シ

二五四 三月十七日

在オタワ矢田總領事ヨリ
石井外務大臣宛

B・C・州移民禁止令実施延期ノ件

通機密第七号

(四月十二日接受)

大正五年三月十七日

在オタワ

總領事 矢田 長之助(印)

外務大臣男爵 石井菊次郎殿

B・C・州移民禁止令実施期限ハ本年三月三十一日ヲ以テ満期ト相成ルヘキ筈ナルニ付本官ハ此程移民総監ヲ訪ヒ該令ノ実施ハ満期後更ニ更新ヲ見ルカ如キコトナキヤ否ヤヲ内問シタルニ對シ総監ハ多分更ニ六ヶ月間位更新スルコトト可相成モ日本人ノ関スル限ハ從前ノ通り其適用ヲ見サルヘシトノコトナリシニ依リ其決定次第公信ニテ確報ニ接シ度キ希望ヲ殘シテ相別レタルニ本月十五日付ヲ以テ右ニ関シ別紙写第一号ノ通り通牒ニ接シタルニ付不取敢往電第十号ノ通り御電報ニ及ヒタル次第ニ有之候而シテ移民総監ニ對シテハ別紙写第二号ノ通り回答致置候

本件首相ノ保証ニ関シテハ客年十月二日附通機密第九号所

ク免ル、コト能ハサルヘク殊ニ今回政府反對党議員候補者トシテ「マクドーナルド」ハ東洋移民排斥ヲ主張シテ銳意保守党ヲ攻撃シタルモノナレハ選挙民ニ對シテモ亦之ヲ強硬ニ主張セサルヘカラサルノ立場ニアルモノ、如シ要之仮リニ今期議會ニ何等カ排斥法案ノ提出セラル、コトアランカ之カ撤廃ハ至難ノ業ニシテ飽ク迄通過セシメザレハ止マサルノ形勢ニアリ前會期ニ於ケルカ如ク排日法案撤廃ニ関シ州政府当局者ノ好意ニ依頼スルコト頗ル困難ナルカ如ク予想セラル

右報告申進候

敬具

本信写送附先 在オタワ總領事

二五三 三月十六日

在オタワ矢田總領事ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

B・C・州移民禁止令実施延期ノ件

第一〇号

本月末日ヲ以テ満期タルヘキ「ビー、シー」州移民禁止令更ニ六箇月延期セラル但シ日本人ニハ從前ノ通り適用ナシ委細郵便

陳ノ理由モアリ且ハ本令ヲ日本人ニ適用セサル儀ハ是迄數回ノ踏襲實例ニ依リ殆ト領政府ノ当分確定ノ方針タルニ至リタルモノト認ムヘキニ依リ旁々首相ニハ前回同様何等申入ル、所ナクシテ止ミタル次第第二有之候
尚新令ノ内容及文句ハ旧令ト全然同一ナルヘキモ未タ官報ニテ公布ノ運ヒニモ至ラス今便送付ノ由無之右ハ追テ移民總監ヨリ写ノ送付ヲ俟テ可及御送付候
別紙書類相添此段及御報告候 敬具
本信写送付先

在英大使、在晚香坡領事

註 別紙省略

二五五 三月二十一日

在ヴァンクーヴァー阿部領事ヨリ
石井外務大臣宛

ヴァンクーヴァー市旅館従業東洋人排斥ノ件

公第六六号 (四月十二日接受)

大正五年三月二十一日

在晚香坡

領事 阿部 嘉八(印)

外務大臣男爵 石井菊次郎殿

本件ニ関シ晚香坡市長マクベス氏ト会見ノ次第ハ本月十六日附公第六三号ヲ以テ及報告候通りニ有之候然ルニ同日直チニ右会見ノ要領ヲ記シタル書面ヲ別紙写申号ノ通り前記市長ニ郵送致置候処本日同市長ヨリ別紙写乙号ノ通り回答ニ接シ候右為御参考茲ニ及送付候 敬具
写 オタワ

註 別紙省略

二五六 三月二十一日

在ヴァンクーヴァー阿部領事ヨリ
石井外務大臣宛

ヴァンクーヴァー市旅館従業東洋人排斥ニ関

スル件

附記

大正四年四月二十日在晚香坡阿部領事ヨリ加藤外務大臣宛公第九一号

同右件

機密第三号

(四月十二日接受)

大正五年三月二十一日

在晚香坡

領事 阿部 嘉八(印)

外務大臣男爵 石井菊次郎殿

公第九一号

(五月十八日接受)

大正四年四月二十日

在晚香坡

領事 阿部 嘉八(印)

外務大臣男爵 加藤高明殿

晚香坡市旅館従業東洋人排斥ニ関スル件

晚香坡市旅館従業東洋人ノ排斥運動ニ関シテハ本年三月十二日附公第五五号ヲ以テ及報告置候処右ハ四月々次晚香坡市鑑札委員会ニ於テモ討議セラレ委員会ハ遂ニ後段記載ノ如キ決議文ヲ採用スルコト、相成候今其ノ經過ヲ記サンニ白人労働組合及婦人就職周旋同盟会側ヨリハ前回ト同一主旨ニヨリ此際一日モ早ク本件実施ヲ要請スルコロアリ右ニ対シ今回「ホテル」業者協会ヨリハ反対陳述書ヲ提出シ個人住宅等ニ於テ自由ニ東洋人ヲ雇備シツ、アルニ「ホテル」業者ニ限り之レヲ禁止強制スルノ不公平ナルヲ述ベ且又實際トシテ先月中当市「ホテル」業者ガ婦人同盟会ニ余リ穢シカラザル「ホテル」内一業務ニ付キ婦人ノ傭入方ヲ申込タルニ更ニ応ズルモノナカリシ一例ヲ示シテ本件実行ノ不能ナルヲ説クトコロアリ先ニ小官ノ市長ニ対シ述ベ

本件ニ関シ本月十六日晚香坡市長ト会見シ同日右会見ノ要領ヲ記シタル書面ヲ送付シ置キタルニ対シ市長ヨリ回答ニ接シタル次第ニ関シテハ本月本日附公第六六号ヲ以テ不取敢及報告置候処当地英字新聞 The Sun ガ別紙添付本日発行ノ紙上ニ於テ昨夜開催セラレタル当市市参事会ノ模様ヲ記シ居ルヲ見ルニ本問題討究ノ際東洋人ナル一般包括用語ヲ避ケテ明カニ支那人ノ問題トシテ討論シ居ルコトハ本月十六日公第六三号報告中晚香坡市長ガ本問題ヲ専ラ支那人干係ノモノナリト言明シタルニ徴シ且又市長ヨリ本官ニ送致シ来レル本月本日附公第六六号信封入ノ来翰ニ照シ頗ル注意スベキ点ナリト被思考候従来当地地方ニ於テ日本人ガ常ニ支那人ト混合同視セラレテ尠カラズ不利不便ノ地位ニ置カレタルニ鑑ミ今回若シ本問題ニ付テ日本人ヲ全然支那人ト区別シテ討究スルノ一例ヲ開クニ至ラバ将来總テノ東洋人排斥問題ニ於テ我レニ有利ナル事至大ナルベシト思考セラレ候

右及報告候 敬具

写 オタワ

(附記)

八 「カナダ」ニ於テ本邦移民排斥關係一件 二五七 二五八

置キタル本件ニ対スル希望並ニ在晚香坡支那領事ノ書翰又披露サレ尚委員會議長タル「テイラー」晚香坡市長ハ本件ニ関シテハ市長ハ決シテ意見ノ發表ヲ回避スルモノニアラズ市長ハ居常白人労働者ニ加担シ東洋人排斥ニ務ムルニ咨ナラズト雖モ市ニ於ケル一正當營業ヲ阻外スルガ如キコトヲ為ス能ハズ云々ト述ベタリ委員會ハ双方聴取ノ結果委員會ハ「ホテル」業者ニ対シテ東洋人ノ使用ヲ禁止スベキ規則ヲ制定スルコト能ハズト雖モ出来得ル限り白人労働者ヲ以テ東洋人ニ代ユベキコトヲ要求スルモノナリトノ決議ヲ全会一致ヲ以テ可決シ閉会致候就テハ本年二月以來ノ懸案タリシ本件モ前述決議ヲ以テ一ト先ヅ結了シタルモノト認メラレ候

右及報告候 敬具

本信写シ送付先 在「オタワ」総領事

二五七 四月三日 在オタワ矢田總領事ヨリ
石井外務大臣宛

B. C. 州移民禁止令実施延期二関スル總督

命令写送附ノ件

通機密第八号

(五月三日接受)

語ヲ避ケテ明カニ支那人ノ問題トシテ討論シタル件ニ関シ同伴カ将来日本人ヲ全然支那人ト區別シテ討究スルノ一例ヲ開クニ至ラハ凡テノ東洋人排斥問題ニ於テ我ニ有利ナル事至大ナルヘキ旨本年三月二十一日附機密第參号ヲ以テ及報告候処当地英字新聞 The Sun カ別紙添附本日発行ノ紙上ニ於テ昨日開催セラレタル当市市參事會ノ模様ヲ記シ居ルヲ見ルニ目下当市ヨリ困窮者トシテ食券及宿泊券ヲ受ケ居ル独身者百十九名ニ対シ当該宿泊券ヲ東洋人經營ノ飲食店及旅館ニ使用スルコトヲ禁止セントノ動議ヲ為シタル市參事會員アリタルカ之ニ対シ市參事會員ゲール氏ハ右提出者タル市參事會員ウドサイド氏ニ対シ質問スル所アリ曰ク本件提出者ノ意向ハ蓋シ支那人日本人東印度人ヲ排斥スルモノナリト思考セラル、モ余ノ見ル所ニヨレハ希臘人コソ前記ノモノヨリ尚以上ニ白人ノ發展ヲ妨害シツツアリ日本人ハ吾等ノ友人ナリ且日本人ハ軍服ヲ着テ我國ノ戦争ニ從事セムトノ誠意ヲ示シタリト述ヘ次ニ同市參事會員ロジャース氏ハ独逸艦隊カ太平洋ニアリタル当時日本艦隊カ加奈陀太平洋沿岸ヲ防護シタルノ事實ニ鑑ミ日本人ヲ本排斥問題ヨリ除外スルコトノ正當ナルコトヲ主張セリ斯クシテ本

八 「カナダ」ニ於テ本邦移民排斥關係一件 二五九

二七〇

大正五年四月三日

在オタワ

總領事 矢田 長之助 (印)

外務大臣男爵 石井菊次郎殿

本件ニ関シ曩ニ客月十七日附通機密第七号ヲ以テ具申及置候次第有之候処右ニ関スル總督命令写本日移民總監ヨリ入手致候ニ付一読スルニ右命令内容ハ全然前回ノモノト同一ニ有之候別紙茲ニ追送旁此段申進候 敬具

二五八 四月四日

在ヴァンクローヴァー 阿部領事ヨリ
石井外務大臣宛

東洋人排斥問題ニ関シ日本人ヲ除外スルノ件

機密公八号

(五月三日接受)

大正五年四月四日

在ヴァンクローヴァー

領事 阿部 嘉 八 (印)

外務大臣男爵 石井菊次郎殿

本年三月二十日開催セラレタル当市々參事會ニ於テ晚香坡市旅館從事東洋人排斥問題討議ノ際東洋人ナル一般包括用

件提出者ウドサイド氏ハ困窮独身者救助ノ食券及宿泊券ハ支那人ヲ使用スル飲食店又ハ旅館ニ於テ使用スヘカラスト修正スルコトニ同意ナリシモ遂ニ通過スルニ至ラス特別委員ニ附シテ次回ノ市會ニ報告スルコトナレリ
歐洲開戦以來帝國海軍カ加奈陀ニ尽シタル偉大ナル援助ト当地歸化邦人義勇兵團ノ加奈陀ニ対スル誠意ト力漸次其ノ効果ヲ顯ハシ東洋人排斥問題討議ノ際斯ル我ニ有利ナル議論ヲ喚起スルニ至リタルハ私カニ愉快ニ堪ヘサル所ニ有之候

右及報告候 敬具

本信写送附先 在オタワ總領事

二五九 四月七日

在オタワ矢田總領事ヨリ
石井外務大臣宛

カナダ議會ニ於テ日英条約及日加条約改正ニ

関シ自由党領袖質問ノ件

通機密第九号

(五月十三日接受)

大正五年四月七日

二七一

在オタワ

総領事 矢田 長之助(印)

外務大臣男爵 石井菊次郎殿

本月四日加奈陀議會ニ於テ加奈陀船舶補助費ニ関スル予算
討議中自由党領袖「ルミュー」氏及商務大臣「サー、ジョ
ーヂ、フォスター」トノ問ニ左ノ問答交換セラレタリ
「ルミュー」氏曰ク

商務大臣ハ数日前日本議會ニ於テ日英條約問題並ニ之ニ
附随シ日加條約問題ニ関シ討議セラレタル事実ヲ承知セ
ラルルナラン余ハ其報導ヲ一米国新聞紙ニテ読ミタルガ
政府ハ果シテ現行條約改締又ハ移民問題ニ関シ日本政府
ヨリ何等カ交渉ニ接セラレタルヤ否ヤ最返ノ統計ニ依レ
ハ加奈陀ニ来ル日本移民ハ大ニ増加ヲ示セリB・C・州
撰出我友人(ステイヴンス)ハ此問題ニ多大ノ興味ヲ
有セラル余ハ毎月日本政府ノ加奈陀移民統計ヲ接受シ居
ルガ之ニ依レハ約五百人ノ日本人ハ近来加奈陀ニ来レル
ヲ報ス尤モ是ハ再渡航者ニシテ現行日加兩國間ノ協定ニ
依レバ再渡航者ノ渡来ニ就テハ何等ノ問題モ無之所ナル
ガ政府ハ移民ニ関シ若クハ通商條約ノ改締ニ関シ何等カ

從テ本問答モ何等日本ニ對シ惡感情ヲ有スルヨリ起リタル
次第ニハ可無之モ唯過般我帝國議會ニ於テ移民ニ関スル質
問演說並ニ之ニ對スル外務大臣答弁演說等ノ新聞記事ニ依
リ日本ガ加奈陀ニ對シ移民協商ヲ改締スル何等カノ意志ア
ランカヲ疑ヒタルノ余ニ出テタルモノナルベクト存候モ同
氏質問中日本ノ来加移民ガ近来大ニ増加シタリトハ全然事
実ヲ誤マルモノナルノミナラズ是ヨリ先本官ハ三月二十日
附ヲ以テ本年一月分ノ加奈陀去来移民月報ヲ送付スルニ當
リ客年中ノ加奈陀去来本邦人ノ計數ヲ略記シ加奈陀ニ渡航
シタル日本人總數ハ加奈陀ヨリ日本ニ渡航シタル日本人總
數ヨリ遙カニ少数ナルヲ示シタル別紙書翰ヲ同氏ニ送り居
ルニ不拘(右ト同様ノ書翰ハ同時ニ首相、内相及労働相ニ
モ送り置ケリ)斯カル事情ニ迂ナル質問ヲ為スハ甚タ其意
ヲ得サルニ付本官ハ為念同氏ヲ訪ヒ其誤解ノ由来ヲ尋ネタ
ルニ同氏ハ前記本官ノ書翰ヲ取出シ読過一番全ク自己ノ卒
讀ヨリ起リタルノ誤解ナリシコトヲ陳說スルト同時ニ附隨
シテ曰フ様尤モ質問ノ本旨ハ日本人去来ノ計數ニ存セス全
ク移民協約改締商議ノ有無ヲ質スニ在リタルモ此点ニ関シ
テハ商務大臣ノ絶對的否認ニ依テ安心セリ尚ホ昨年日本人

八 「カナダ」ニ於テ本邦移民排斥關係一件 二六〇

商議ヲ進メラレツツアルヤ

余ノ觀ル所ニテハ日本ニテハ單ニ日英兩國間ノミナラス
日加兩國間ニ於ケル條約ノ改締ヲ希望スル有力ナル運動
アルモノノ如シト

「サー、ジョーヂ」曰ク

「ルミュー」氏質問ハ目下討議中ノ補助金問題トハ何等
ノ交渉ナシ

「ルミュー」氏曰ク

併シ附從問題ニハアラズヤ

「サー、ジョーヂ」曰ク

船舶ハ移民ニ附随物ナラン而シテ條約ハ日加兩國ノ通商
ニ關係アルハ言フヲ俟タス併シ「ルミュー」氏ヨ幸ニ意
ヲ安シテ可ナリ日本議會ニ於ケル討議ハ——我議會ニ於
ケル或ル討議ノ如ク——議會内ニ於テハ強硬猛烈ナラン
モ他ニ向テハ余リ影響ナキモノナリ目下兩國間何等商議
進行中ノモノナシ

右ハ兩者間質問ノ要領ナルガ「ルミュー」氏ハ御承知ノ通
リ予テ自カラ日本ノ同情者ヲ以テ任シ居リ屢々日本弁護
ノ地位ニ立チコススレ故意ニ本邦ヲ惡解スル謂ハレ無之

渡航數ノ増加ニ関スル自己ノ誤解ニ就テハ最近ノ機會ヲ捉
ヘ議會ニ言明シ置クベシト述べタルニ付日本移民去来動靜
ニ就テハ本官ヨリ毎月費下ニ對スルト同シク加奈陀政府當
局ニモ月表ヲ送致シ居ルニ依リ當局者ハ能ク其事実ヲ知悉
シ居ルヘキニ付敢テ必ズシモ態々是正ノ必要ナキガ如キモ
若シ費下ニシテ大ナル不便ヲ感セラレザル儀ナラバ是正セ
ラルル方希望スト述ヘタルニ氏ハ重ネテ本官ニ向ヒ氏力常
ニ自ラ日本ノ親友ヲ以テ任シ居ルコトヲ繰返シソレニテ相
別候

別紙相添右及報告候 敬具

註 別紙省略

二六〇 四月十五日

在オタワ矢田總領事ヨリ
石井外務大臣宛

カナダ議會ニ於ケル自由党領袖ノ質問中日本
移民數正誤ノ件

通機密第一〇号

大正五年四月十五日

(五月二十九日接受)

在オタワ

総領事 矢田 長之助(印)

外務大臣男爵 石井菊次郎殿

本月四日加奈陀議會ニ於テ加奈陀船舶補助費ニ関スル予算
討議中自由党領袖「ルミュー」氏ガ昨年中ノ本邦移民數ニ
付キ誤謬ノ言明ヲナシタルヲ以テ不取敢同氏ヲ訪ヒ其ノ誤
解ヲ解キタルニ同氏モ近日機會ヲ得テ之ヲ議會ニテ訂正ス
ベシト快諾シタル件ニ関シテハ曩ニ本月七日附通機密第九
号ヲ以テ報告申進置候処「ルミュー」ハ其ノ後本月七日ノ
議會ニ於テ別紙議事録記載ノ通り曩ノ誤謬ヲ正シ大略左ノ
如ク言明致居リ候

曩ニ日本移民ニ付キ予ガ議場ニテ述ヘタル点ニ誤謬アル
ヲ発見シタルバ茲ニ訂正シ置カント欲スソハ商務省予算
討議ニ際シ予ハ近來加奈陀渡來日本移民ノ激増セルヲ言
明セルモ移民月報ヲ看ルニ之レ予ノ誤解ニ出テタルモノ
ニシテ日本移民ハ戦乱ノ影響ヲ受ケ近來減少セリト云ハ
ザルベカラザリシナリ事実ニ於テ昨年ハ差引四百十九人
ノ減少ヲ見タリ

而シテ右四百十九人ノ數ハ客年中ノ帰国三等船客數ヨリ來
加移民數ヲ差引タル數ニ有之候右前信ニ關聯シ御參考マデ
別紙相添及報告候 敬具

ル法案ノ提出セラルルヤノ風説アリ同地日本人ノ代表者本
月拾四日来館シテ若シ日本人ニ不利益ナル法律ノ制定セラ
ルル場合ニハ之レガ防止ニ尽力セラレ度キ旨請願ノ次第有
之候ニ付本官ハ内密ニ政府当局者ノ意嚮ヲ探リタルニ鈺務
大臣ローン、キヤンベル氏ハ數ヶ月前現職ニ任命セラレ
By-election ニハ僅カニ數票ノ差ニテ勝チヲ制シタル程ニ
シテ來ル総選挙ニ於ケル同氏ノ當選モ頗ル疑問ナルニ付何
トカ人氣取りノ方法トシテ此際東洋人排斥ノ法律ヲ制定セ
ント焦慮シツ、アル由其結果熱心ニカンパード炭坑ヨ
リ何等カノ手段ヲ以テ東洋人ヲ排斥セザル可カラズトノ意
見ヲ支持スルモノノ如ク其方法トシテ從來日本人及支那人
ニ下附シタル坑夫免狀ヲ全部取消シ法律ニ定ムル嚴重ナル
試験ヲ施行セントスルモノ、如シ然ルニ右試験規則ニヨレ
バ第一ニ坑夫ハ英語ヲ解セサルベカラズ次ニ炭坑規則ノ大
体ヲ心得サルベカラズトノ規定アリ若シ嚴格ニ之レヲ勵行
セラルル場合ニハ恐ラクハ目下就働中ノ邦人炭坑二百余名
中一人モ通過スル者ナカルベシト云フ見込ニシテ同地炭坑
夫ニ取リテハ殆ンド死活ノ問題ナリトセラレ居候
本件ニ関スル法案ハ未タ議會ニ提出セラレサルヲ以テ其内

二六一 四月十九日 在ヴァンクーヴァー阿部領事ヨリ
石井外務大臣宛

カムバード炭坑ニ就業セル邦人労働者排

斥ノ件

機密第一〇号 (五月三日接受)

大正五年四月十九日

在晚香坡

領事 阿部 嘉 八(印)

外務大臣男爵 石井菊次郎殿

晚香坡ヲ去ル海上約八十哩晚香坡島カンバード炭坑ニ
就働スル邦人労働者ノ數ハ目下二百二十余名ニシテ其家族
ヲ計上スル時ハ其數五百余名ニ達スル次第ニ有之候而シテ
同地ニ於テハ先年來白人炭坑人ノ同盟罷業スルアリ邦人勞
働者及支那人労働者交リテ就働シツツアル有様ニシテ從テ
白人労働者組合ヨリB・C・州政府当局者ニ向テ炭坑業者
ガ白人ヲ排斥シテ東洋人ヲ使用スルコトノ不当ナル所以ヲ
屢々請願シタル事アリ今回モ目下B・C・州議會開會中ナ
ルヲ幸ヒ同様ノ運動白人労働組合ニ起リ東洋人ニ不利益ナ

容ヲ知ルニ由ナキモ若シ内偵シタル処ノ如ク日本人及支那
人ノ坑夫ニ對スル免狀ヲ全部取消シ他ノ免狀ハ其儘トナス
場合ハ明カニ日本人坑夫ニ對シテ区別的待遇ヲ与フルモノ
トシテ抗議ノ余地アルベシト思考セラレ候然ルニ一般的ニ
坑夫免狀ノ再試験ヲナス場合ニハ殆ンド抗議ノ余地ナキガ
如ク而シテ其結果ニ於テハ当該試験官ノ手加減ニ依ツテ大
多數ノ邦人労働者ヲ排斥スルコトヲ得ル次第ニシテ本官ハ
此点ヲ大ニ憂慮致シタルモ聞ク処ニヨレバ政府当局者ニ於
テハ炭坑夫全般ニ亘リテ再試験ヲナスノ意嚮ナキガ如ク且
ツ若シサル場合ニハ一時的ナリトモ炭坑ノ營業ヲ中止スル
ノ結果ヲ來シ容易ナラザル事ニ付其ノ事ナカルベク唯タ前
述シタル事情ニヨリ新任鈺務大臣ガ労働者組合ノ人氣取り
策トシテ東洋人排斥ノ形式ニ於テ一ノ法案ヲ提出スルコト
無キヲ保シ難シ或ハ既ニ首相手許迄提出セラレ居ルト伝フ
ルモノアリ執レニシテモ之レニ對スル首相バウザーノ態度
コソ最モ注意ヲ要スベキ議ト被思考候

右及報告候 敬具

写 オタワ 在英大使

二六二 四月二十七日 在ヴァンクーヴァー阿部領事ヨリ
石井外務大臣宛

カムバールランド加奈陀炭坑会社ニ就業スル本

邦労働者排斥ノ件

機密公第十一号

(五月二十日接受)

大正五年四月二十七日

在晚香坡

領事 阿部 嘉 八(印)

外務大臣男爵 石井菊次郎殿

本件ニ関シ同地日本人ノ代表者来館請願ノ次第及B・C・州政府当局者ノ意嚮内偵ノ儀ハ本月十九日附機密公第拾号ヲ以テ及報告候処實際ノ事情取調ベノ必要ヲ感シ候ニ付当館渡辺書記生同伴本月二十一日同地向ヒ二日間ヲ費ヤシ美府ヲ經テ帰任致候本官ノ取調べタル所ニヨレバ同地日本人ノ実情ハ本月本日付公第九九号報告ノ通り晚香坡島ニハ四個ノ炭坑会社アルガ邦人労働者ハ全部キャネデアン、コリーヤリース会社ニ就働シ其総數百八十九之レニ妻子ヲ加フル時ハ其総數四百ニシテ二ヶ所ニ日本人小学校ヲ有シ其学童總數二十七外ニ白人小学校ニ通学スル者四名アリ同地

属炭坑会社ニ對シ賃銀引上ケノ交渉ヲ為シ曩ニハ千九百十二年ニ於ケルガ如ク同盟罷工ヲ敢テナスコトアリ之等同盟罷工防庄ノ手段トシテ東洋人労働者ヲ不断使用シ居ルコトノ甚ダ利益スル所不勘ニ付従来白人労働者ノ反対猛烈ナルニ不拘前記 Canadian Colliers Limited 炭坑会社ノミハ二十數年来引続キ東洋人労働者ヲ使用シ同会社ハB・C・州保守党政府ノ主領株ト密接ノ干係アリト称セラレ從テ其潜勢力ヲ利用シテ炭坑ニ関スル法規ノ勵行ヲ寛大ニシ炭坑夫免狀下附ノ如キハ殆ンド無試験ニシテ之レガ下附ヲ受ケ来リタル次第ニシテ右法規ノ明文ニハ炭坑夫免狀ノ下附ヲ受クル者ハ第一英語ヲ解セザルベカラズ次ニ炭坑規則ノ大体ニ通セサルベカラズトノ規定アルニ實際本邦人中右免狀ヲ所持スル者ニシテ自己ノ姓名スラ満足ニ署名スルコトヲ得サル者アルカ如キハ全ク会社側ニ於テ日本人労働者ヲ望ムノ余リ所定ノ試験ヲナサズシテ免狀ノ下附ヲ周旋シタル者ナルコト明カナリ尤モ炭坑夫免狀(Miners Certificate)ヲ有スル坑夫(Miners)ハ他ニ一名ノ無免狀坑夫(Helper)ヲ使用スルコトヲ得ルモノニシテ同地炭坑ニ就働スル邦人労働者ノ種類ヲ細別スル時ハ免狀ヲ有スル日本人炭坑夫ノ

在住邦人ノ所有スル不動産ハ家屋九十二軒其見積價格米貨六万九千五百弗ニ違ス其始メテ邦人労働者ガ同地ニ至リタルハ明治二十四年ニシテ遠ク廿數ヶ年ニ溯リ今や炭坑労働者トシテ一時的集散ノ境遇ヲ脱シテ殆ンド永住ノ基礎ヲナシ其ノ獲得スル収入モ他ノ邦人労働者ノ労働ト比シテ遙カニ割高ニシテ目下当地製材会社ニ於ケル下級労働賃銀一日(八時間働)米貨七拾五仙ナルニ炭坑ニ於テハ日雇労働一日(八時間働)米貨壹弗四拾五仙乃至壹弗七拾五仙ヲ取得シツツアリ邦人労働者ニ取りテハ頗ル有利ナル労働口ナリ斯クノ如ク邦人労働者ニ取りテ有利ナル労働口ナルガ如ク白人労働者ニ取りテモ亦同様有利ナル仕事口ニシテ自然其争奪ニ競争激烈ナルヲ免レズ東洋人炭坑夫排斥ノ原因ハ素ヨリ爰ニ其端ヲ発シ居ル事明白ナリ然ルニ炭坑会社ヨリ之レヲ見ルニ邦人労働者ニ對シテハ日雇一日(八時間働)米貨壹弗四拾五仙乃至壹弗七十五仙ヲ支払ヒ居ルニ拘ハラズ白人労働者ニ對シテハ同様ノ仕事ニ對シ米貨貳弗八拾五仙乃至參弗ヲ支払フコトヲ余儀ナクセラレ兩者ノ間ニ賃銀ノ差違甚ダシク随テ可成低廉ノ東洋人労働者ヲ使用セントスルハ自然ノ事ナリ且ツ白人労働者ハ労働組合ヲ組織シテ屬數ハ約七十名無免狀坑夫八十八名雜労働三十一名合計百八十九名トナルガ右ノ事情ナルニ付若シB・C・州政府ニ於テ本月拾九日附機密公第拾号報告ノ通り新規ニ法律ヲ制定シテ此際日本人炭坑夫ニ下附シタル免狀ヲ取消シ更ラニ法定ノ試験ヲ嚴格ニ施行スル場合ニハ恐ラク免狀ヲ有スル七十名ノ炭坑夫ノ大多数不合格ニシテ爾余之レニ隸屬スル労働者ハ孰レモ職ヲ失フコトト相成リ実ニ同地在留邦人ニ取りテ死活ノ問題タリ其成行ニ付キ非常ニ憂慮シ居ル次第ニ有之候

同地視察ノ後帰途美府ヘ立寄り首相パウザー氏ニ面會シ本件ニ関スル同氏ノ意嚮ヲ確メタルニ同氏ハ開口先ツ日本人労働者ノ支那人労働者ニ比シテ勝レリトノ評判ヲ耳ニシ且ツ日本人炭坑夫ハ相当ニ英語モ解シ炭坑規則ヲモ了解シ居レバ再試験ヲ行フ場合ニモ容易ニ合格スヘキ由ナルガ實際ノ事情如何ト質問スル所アリタリ此ノ質問ヲ起シタル同氏ノ真意ガ那辺ニアルカ之レヲ捕捉スルニ苦シミタルモ若シ之レニ對シ日本人炭坑夫ノ大多数ガ實際ニ英語モ解セス炭坑規則ヲモ弁ヘサル事情ヲ語ルニ於レハ本官ノ証言ニヨリ邦人炭坑夫ニ不利益ヲ来スコト無キヲ保セスト思考セラレ

同時ニ又事実ナラザル邦人炭坑夫ニ対スル首相ノ讚辞ヲ認容セハ是又却テ不利益ヲ来ス事ヲ虞レタルニ付本官ハ可成本問題ニ対シ「コンミット」スルコトヲ避ケ同氏ニ対シ日本人炭坑夫ノ坑夫試験ニ合格スルヤ否ヤハ寧ロ試験ノ程度如何ノ問題ニシテ若シ簡單ナル試験ヲ施行スル場合ニハ孰レモ曾テ一度之レヲ通過シタル者ナレトモ嚴格ニ法律ノ命スル所ニヨリ苛酷ナル試験ヲ施行スル場合ニハ恐ラク日本人坑夫ノ大多数不合格者ヲ出スコトアルヲ免レス唯タ問題ハ之等ノ免状ヲ有スル邦人炭坑夫ガ數十年來炭坑ニ働イテ何等不都合ナカリシニ今日俄カニ之等ノ免状ヲ取上ゲテ更ラニ試験スルコトノ甚ダ不条理ナル点ニアリ殊ニ本件ニ関シ白人ヲ除外シ日本人ノミヲ他ノ東洋人ト同視シ区别的取扱ヲナスコトノ不当ナル所以ヲ述べ尙本官ガ調査シタル結果同地日本人ハ既ニ幾多ノ不動産ヲモ所有シ居ル次第ナルニ付此際之等ノ邦人ニ同地立退キヲ強ヒラルルガ如キ苛酷ナル取扱ヒニ反対スル者ナルコトヲ述べ切ニ同氏ノ考慮ヲ促シタルガ首相バウザー氏ハ最後ニ此際東洋人炭坑夫ニ対シ再試験ヲ施行スル法律ヲ制定スル事ニ関シテハ未ダ政府ニ於テ考慮中ニ屬シ自分個人ノ考ヘトシテハ再試験ヲ施

行スルコトニ賛同シ居ラス可成日本人炭坑夫ニ対シテ不利益ヲ来ス様ノコトヲ避クベシト言明致候
右及報告候 敬具

写 オタワ 総領事 在英大使

二六三 四月二十七日

在ヴァンクーヴァー阿部領事ヨリ
石井外務大臣宛

カムバーランド加奈陀炭坑会社ニ於ケル在留

邦人報告ノ件

公第九九号

(五月二十日接受)

大正五年四月二十七日

在晚香坡

領事 阿 部 嘉 八 (印)

外務大臣男爵 石井菊次郎殿

本件ニ関シ別紙之通り調査及報告候間査閲相成度候 敬具

(別 紙)

カンバーランド加奈陀炭坑会社ニ於ケル在留邦人狀況

報告ノ件

一、総 説

会社ハ今ヲ去ル二十九年年前ノ創設ニシテ曾テ当州知

為メ歓迎セラレ特ニ「ストライキ、ブリーカー」トシ

テ利用セラレ居ルカ如シ

一、邦人坑夫ノ生活狀態

邦人坑夫及其ノ家族ハ白人支那人ト區別シテ一地点ニ居住シ一個ノ日本村ヲナス礦区ノ都合ニヨリ三ヶ所ニ散在シ通計炭坑労働者(各種労働ヲ含ム)百八十九妻子女二百一十一合計四百九十二小学校ニ雜貨店四、雜貨時計店一、洋服裁縫業一、理髮店一、自転車修理業

一、写真業一、牧師、齒科医一

一、結 論

会社ニ於テ邦人労働者ヲ使用スルハ其ノ利益ナルカ故ナルコト論ヲ待タス若シ白人労働者ニ比シ利益スルトコロ大ナラサルニ於テハ必スヤ邦人労働者ヲ解雇シテ白人労働者ヲ使用スルコト明白ナリ唯同会社ニ就働スル邦人ハ会社ノ事業開始以來密接ナル關係ヲ有シ会社側ニ於テモ俄カニ解雇スルカ如キコト無カルヘシ

一、総 説

由來晚香坡島ハ石炭産出ヲ以テ名アリ同島ニ於ケル炭坑会社ノ數四加奈陀炭坑会社 (Canadian Collieries Co.) 西

事タリシ「ダンスミニア」氏先代ノ発見ニ係ル、一九一一年「カナデアン、ノーザン」鉄道会社ニ讓渡セラレタルモノナリ

一、同会社炭坑ノ現状

炭坑地域四哩ニ亘リ八個ノ鉱区ヨリ成ル内三坑ハ廢坑シ採掘準備中ノモノ一、現在採掘ニ従事シ居ルモノ四坑アリ電力六千馬力ノ水力電氣ヲ用ユ

前記各坑ヲ通算シテ目下就働者總數ハ白人二百六十四日本人百八十二支那人五百五十黑人十ニシテ毎日平均採炭總量二千五十屯

一、同会社ニ就働スル坑夫ニ関スル研究

支那人ハ其ノ數ニ於テ首位ヲ占ムルモ其ノ多クハ炭坑内外ノ運搬雜役ニ従事シ採炭ニ従フ者ハ比較的少數ナリ

白人労働者ハ会社ヨリ優遇セラレ其ノ賃金ノ如キモ邦人支那人ニ比シ約一倍半ノ高額ヲ受ケ居ルモ多クハ労働組合ニ屬シ時ニ同盟罷業ヲ為シ会社ノ不利益ヲ来スコト尠カラス

邦人坑夫ハ会社ニ対シテ忠実且永年ノ經驗ヲ有スルガ

部燃料会社 (Western Fuel Co.) 太平洋沿岸炭坑会社 (Pacific Coast Coal Mine) 晩香坡「ナナイモ」炭坑会社 (Vancouver Nanaimo Coal Mining Co.) 而シテカナダ炭坑会社ハ曾テ当州知事タリシ「ダンズミニア」氏ノ先代ガ「ウエリントン」炭山ノ開始ニ次テ「ユニオン、ベア」ヲ去ル西北十三哩ノ山間ニ炭礦ヲ発見シ大規模ニ発掘ヲ開始セルハ今ヲ去ル二十九年前十ニシテ當時已ニ本邦坑夫支那人坑夫ノ同炭坑ニ就働セルモノアリ州内ニ於テ「クロウズネスト」炭坑会社ト対峙シ晩香坡島第一ノ炭山タルニ至レリ

一九一一年当領第三大陸横断鉄道タル「カナデアン、ノーザン」鉄道会社ニ山嶺区域二万英町ヲ譲渡シ爾来「カナデアン」炭坑会社 (Canadian Collieries (Dunsmuir), Ltd.) ト改称シ社長ハ「サー、ウイリアム、マッケンジー」(Sir William Mackenzie) ニシテ資本金千五百万弗本社ヲ当州ヴィクトリア市ニ置キ晩香坡島克蘭ベリー (Cranberry) 地方ノ「エキステンション」(Extension) 及「ロモックス」(Comox) 地方ノ「カムバールランド」(Cumberland) ノ兩所ニ於テ採炭ヲナス「エキステンション」ニ在

一、同会社炭坑ノ状態

同炭坑地域ハ四哩ニ亘リ総テ八個ノ鉱区ヲ有シ「カムバールランド」市ニ近キ第一第二第三号区ハ既ニ廃坑ニ歸シ現ニ採炭ニ従事シ居ルモノハ第四、第五、第六、第七号ノ四坑区ニシテ第八号坑区ハ今ヤ採掘ノ準備中ニ属ス一九一三年八月「パントレッジ」(Pantellege) 河ノ水力ヲ利用シ電力六千馬力各鉱区ニ之ヲ分送ス若シ第六礦区内ノ発電所完成スルニ至ラハ「ロモックス」地方ハ総テ電力ニ依ルコトヲ得ヘシ現ニ採炭シツツアル坑区ニ就キ概説セムニ

第四号坑区

「カムバールランド」市ヨリ二哩坑夫白人五十人支那人二百五十人黒奴十人而シテ邦人ノ就働スル者四十五人計三百五十五人ニシテ各日八時間労働平均採炭量七百五十屯ニシテ甚タ好望ナリト言フ

第五号坑区

第五号坑区ハ堅坑ニヨリ岩層ニ通ス最低層ニ達スル深サ六百呎現ニ採炭ニ従事スルハ其ノ上層三百呎ニ至ルモノトス目下一時休止シツツアリ

第六号坑区

ルモノヲ「エキステンション」炭坑 (Extension Colliery) 後者ヲ「ロモックス」炭坑 (Comox Colliery) 又ハ「ユニオン炭坑 (Union Colliery) ト称ス本島中央東岸「ユニオン、ベア」(Union Bay) ヨリ十一哩陸地ニ入りタル「カムバールランド」市ヲ圍繞シテ存在ス同所ハ「ナナイモ」市ヨリ七十哩「ユニオン、ベア」ヨリハ同会社ノ鉄道ヲ以テ炭坑ニ通シ「ユニオン、ベア」晩香坡島東部沿岸ニ於ケル汽船寄港地ニシテ灣ニ沿ヘル一小邑ナリ晩香坡市ヲ去ル海路九十三哩「ナナイモ」市ヲ去ル海路五十三哩ニシテ「ナナイモ」ヨリ航程六時半ヲ要ス所謂「カムバールランド」炭坑所産石炭ノ積出地ニシテ稍々大規模ノ石炭積載用高架棧橋ヲ架設シ定期船ノ往復スルアリ電信局電話局旅館器械店鑄造所洗炭所等ノ設備アリ会社所屬積炭用汽車ハ又一般旅客ヲモ輸送シ「カムバールランド」ニ至ル「カムバールランド」市ハ「ユニオン、ベア」ノ西北十一哩ニアリ炭山ノ開始以來既ニ二十五年ノ歴史ヲ有ス地勢一帶山岳重疊交通ノ衝ニ當ラス炭坑市街トシテノ外見ルヘキモノナク又将来發展ノ見込殆トナシ附近製材会社等アルモ規模小ニシテ見ルニ足ラス

「カムバールランド」市ニ接近シ白人坑夫三十五人支那人五十人而シテ邦人九十人計百七十五人一日八時間採炭平均量六百屯

第七号坑区

「カムバールランド」市ヲ去ル五哩「ユニオン・ベア」ヨリ十二哩ヲ隔ツル「ビーヴァン」ノ町ニアリ一九〇六年始メテ採炭ニ従事シ現今坑夫ノ數ハ支那人二百五十人白人百七十九人邦人四十七人計四百七十六人一日平均採炭量七百屯同所八百五十戸ノ坑夫住宅ト商店、旅館、小学校ノ設備アリ百五十戸ノ住宅ハ邦人白人支那人三区ニ分レ秩序整然タルモノアリ斯ノ如ク区画ヲ設ケタルコトカ会社ノ意嚮ナリヤ白人坑夫ノ希望ナリヤ否知り難シト雖平常ニアリテハ極メテ円満ニ交際シツツアリ

第八号坑区

「カムバールランド」市ヨリ四哩ヲ隔テ第七号坑区ノ東一哩半ノ地点ニアリ石炭ノ需要多カラサル為メ一昨年八月五日ヨリ一時事業ヲ中止セリ

同会社カ一九一五年ニ採掘セル石炭ノ総屯數ハ四十二万五千屯(「エキステンション」炭坑ノ産出額ヲ合ス)ニシテ

「カムバーランド」炭坑ノミノ採炭額二十六万吨之ヲ一九一四年ニ於ケル採炭額三十九万四千七百三十一屯ニ比スレハ十三万四千七百三十一屯ノ減少ヲ見ル
一九一五年ノ詳細ナル統計ハ未タ発表セラレサルカ参考ノ為メ一九一四年ニ於テ採掘セル総屯數ヲ外国ヘノ輸出額及州内消費額ニ分チ表示スレハ左ノ如シ

摘要	石炭		コークス	
	屯數	合計	屯數	合計
加奈陀ニ於ケル消費高	3,007,011		2,334	
北米合衆國ヘノ輸出高	6,355,566			
其ノ他ノ諸國ヘノ輸出高				
以上売上屯數	3,352,577		2,334	
洗炭消失高	216,336			
会社汽缶等ニ要セル消費高	2,047,035			
以上会社ノ消費高	1,007,343		2,334	
前年度繰越会社蓄積高	11,148			
年末ニ於ケル会社在庫高	2,355,555			
同年中ニ加ハリタルモノ	10,104		2,334	
蓄積高ノヨリ取り去リタルモノ				
同年会社ノ採炭高	5,338,477			

○備考 一屯ハ二千二百四十封度 副産物 耐火粘土 九三七屯
一、同会社ニ就働スル坑夫ニ関スル研究
同会社ニ就働スル坑夫ハ大体ニ於テ三ツニ區別セラル即チ

セシモ其ノ後再ヒ機ヲ得テ就働セシ以來常ニ会社側ニ立チテ白人坑夫ノ同盟罷業ニ与セス漸次地盤ヲ作りテ今日ニ至リシヨリ見ルモ邦人坑夫カ如何ニ会社側ニトリテ有利ナルカハ之ヲ知ルニ足ラム而シテ白人坑夫カ会社ニ對シ罷業ヲ行フニ當リテハ「ユニオン」ニ屬セサル邦人坑夫ヲ仇敵視スルハ素ヨリ其処ナリト雖平素ハ兩者ノ關係極メテ円満ナリト謂フ

一、邦人坑夫ノ生活状態

会社ニ就働スル坑夫カ大体ニ於テ三個ニ区分セラルルハ前述ノ如シ而シテ其ノ居住地ノ如キモ白人日本人及支那人ト區別シテ会社ノ敷地内ニ數町或ハ十數町ヲ隔離シテ存在スルノ如ク地域ヲ分チタルコトカ当初会社ノ意思ヨリ出テタルカ或ハ各自ノ希望ナリシヤハ知り難シト雖トモ事實上邦人ハ邦人坑夫ノミ一地点ニ住居シ其ノ居住地ニ至ラハ宛然一個ノ日本村ヲ現出ス本邦人ノ居住地ハ「カムバーランド」市街ノ西部一哩ノ山麓ニ在ル第一号坑区、同市街ノ東部ニ於ケル第五号坑区及同市街ヲ去ル五哩「ビーヴァン」ノ町ニ在ル第七号坑区ノ三ヶ所ニ散在ス
第一号坑区ニハ本邦人坑夫七十四人ト其ノ妻子九十計百六

白人、邦人、支那人ニシテ數ニ於テハ支那人其ノ首位ヲ占ムルモ多クハ炭坑内外ノ運搬雜役ニ従事シ採炭ニ従フ者ハ比較的少數ニシテ労働力モ亦他ノ二者ニ比シ劣等ナルカ故白人坑夫及本邦坑夫ニ隸屬シ其ノ使役ニ甘ンス
白人坑夫ハ会社カ常ニ重キヲ置ク所ナリト雖トモ利益ノ為メニ転々移動シ所謂渡り者ニシテ「ユニオン」ニ屬スル者多ク加フルニ長ク就働スル者ニ至リテハ極メテ少數ナルト同時ニ「ユニオン」ノ後援ヲ特ミテ賃銀問題ニ関シテ同盟罷業ヲ企ツヲ以テ会社ハ之ヲ信用スルコト能ハサルノ事情アリ
邦人坑夫ニ至リテハ三者中其ノ數最モ尠ク其ノ労働力ニ至リテモ特ニ優秀ナリト稱シ難キモ「ユニオン」ニ屬セス且又利ヲ追フテ転々其ノ職ヲ求ムル渡り者ニ非ス現ニ会社ニ就働スル者ノ中其ノ古キヲ求ムレハ既ニ二十有余年ニ亘リ採掘ニ従事シ会社ニ對シテ忠實ニシテ且又相應經驗ニモ富ムヲ以テ会社ノ立場ヨリ見レハ白人側ノ反対非難ハ万之ヲ承知スルモ尚信賴置ク能ハサル白人坑夫ノ牽制策トシテ之ヲ使傭シツツアリ年来会社カスル方針ヲ持シタル所以ハ經濟上ニ歸因スルコト勿論ニシテ明治二十四年始メテ邦人坑夫カ同地ニ來住シ其ノ後東洋人排斥ノ為メ一時同地ヲ離散

十四人戸數約四十戸雜貨食料品商店アリテ食料品及日用品ヲ供給シ球戯場アリ風呂屋アリ明治二十四五年頃ヨリ來住セル者モアリ又年々子女ノ増加スルヲ以テ曾テハ邦人基督教師カ伝道ノ傍之レ等在留者ノ子女ニ教育ヲ施シツツアリシカ大正四年三月同会社ヨリ校舍敷地トシテ一英町ヲ借受ケ（最初十ヶ月地代ナシ其ノ後年十八弗）各自ノ贖金ニヨリテ校舍ヲ新築（建築費三百五十弗）シ「カンバーランド」第一号地国民学校ト稱シ本邦ニ於テ小学児童教育ニ經驗アル野中終ナル者ヲ教員トシ大要本邦文部省ノ規定ニ遵拠シ七歳ヨリ十五歳ニ至ル者十三人ノヲ五學級ニ分チテ教育シツツアリ而シテ学校維持方法ニ関シテハ學務委員五名ヲ選ビ教師ニ對スル一ヶ月ノ謝礼三十弗ハ目下児童父兄ノ負担トナスモ今後ハ一般維持費ヲ以テ之ニ當テムトノ計画モアリ又同地ヨリ白人ノ小学校ニ通学シツツアルモノ四人アリト現ニ同号坑区ニ在住スル者ハ第四坑第六坑ニ於テ採炭ニ従事ス

第五号坑区ニハ邦人六十八人妻女九十一人計百五十九人戸數四十戸同坑区ハ明治二十八年以來邦人ノ在住セシ場所ニシテ今日ニ至レリト云フ是レヨリ先大正三年八月迄ハ前頭

邦人基督教牧師伝道ノ傍女子ヲ教育シツツアリシカ現今ハ「カムバーランド」第五号地小学校ナル名称ノ下ニ成石吉郎ナル者ヲ教員トナシ十二名ノ児童ヲ六等級ニ分チ教育シツツアリ第一号坑区同様雜貨店等ノ設備アリ現今第五坑ハ一時休止セルヲ以テ坑夫ハ第六坑ニ就働ス

第七号坑区ハ一九〇六年始メテ第七坑採掘開始ト同時ニ開拓セラレタルモノニシテ邦人白人支那人ノ住宅地明確ニ区分セラレ秩序整然新開都市ノ觀アリ邦人四十七人妻女三十人計七十七人戸数十二戸同号坑区ニハ本邦学校ノ設備ナク凡テ白人小学校ニ通学シツツアリ児童四此地区ニ居住スル者ハ凡テ第七坑ニ就働ス

以上列記ノ三個地区並ニ「カムバーランド」市ヲ通シテ邦人在留者職業ヲ分類スレハ雜貨店四、雜貨時計商一、洋服裁縫業一、理髮店一、自転車修繕業一、写真業一、牧師一、齒科医一而シテ炭坑就働者合計百八十九人妻女ヲ加ヘテ四百人坑夫以外ノ者妻女ヲ加ヘ約三十人ヲ算ス
前述セルカ如ク邦人ノ此地方ニ來住セル茲ニ年アリ斯ノ如クシテ日ニ莫大ノ利益ヲ得ツツ今日ニ及ヘリ從テ其ノ所有

支那人	坑夫	補助者	雜労働者
六〇	一・七〇	一・七〇	一・七〇
四八	一・七〇	一・七〇	一・七〇
三七	一・七〇	一・七〇	一・七〇

而シテ右ニ表示スル本邦坑夫、坑夫補助者並ニ雜労働ニ從事スル者ノ數ニ関シテハ会社ヨリ政府ニ対シ報告スル場合ニハ其ノ數ヲ減シ在リ例ヘハ免状ヲ有セザル坑夫ノ補助者ヲ四十四人ニ計上シ雜労働者ハ事實三十余人ヲ九人トナスカ如ク斯ル例ハ支那人ニ関シテハ特ニ甚シキヲ見ル即チ支那人坑夫、坑夫補助者ヲ二百五十一人ト計上スルモ事實ハ其ノ倍數五百余人ヲ使備シ居ルカ如シ

坑夫ハ一日八時間労働ニテ本邦人白人支那人一律ニ一屯七十五仙ノ条件ヲ以テ契約シ炭脈ヲ給与セラレ居リ其ノ発掘高ニ依リテ賃銀ヲ受ク邦人ハ最低二弗ヨリ三弗ノ間ニシテ平均二弗五十仙白人ノ労働力優秀ナルモノニ至リテハ四弗以上ヲ得ル者アリ白人ハ平均三弗以上ナリト謂フ要スルニ坑夫賃銀ノ多寡ハ与ヘラルル其ノ炭脈ノ良否ニ因ルモノニシテ今ヲ去ル十二年前白人坑夫ノ同盟罷業アリシ迄ハ事實上邦人坑夫ハ単ニ白人坑夫ノ幫助者タルニ止リシモ其ノ後

スル不動産家屋九十二軒其ノ見積價格米貨六万九千五百弗ニ達ス左ニ当州政府ノ発行ニ係ル報告(一九一五年発行ノモノヲ最近トナス)ニヨリ同会社ニ就働スル坑夫ノ概況人數並ニ賃銀一日平均額ヲ參考ノ為メニ表示スヘシ
坑夫及其賃銀

坑夫ノ種類	地 下		地 上		坑夫總數
	坑夫數	賃銀一日平均額	坑夫數	賃銀一日平均額	
監督及手	四	弗仙 弗	八	弗仙 弗	四
坑夫	二〇九	三・〇〇—三・五〇	一八	四・〇〇—六・〇〇	二〇九
坑夫補助者	六三	三・〇〇	一	二・四〇—三・〇〇	六三
雜労働者	八〇	二・五〇—三・〇〇	五	二・四〇—三・〇〇	八五
機械士及職工	四〇	三・〇〇—四・〇〇	四〇	三・〇〇—三・五〇	八〇
給仕	三	一・七〇—二・四七	三	一・〇〇—一・五〇	六
坑夫	七〇	弗仙	三	弗仙	七〇
坑夫補助者	四	一・七五	一	一・七五	四
雜労働者	九	一・七五	三	弗仙 弗仙	三
坑夫	二三	三・五〇	三	一・〇〇—一・五〇	二三

白人ト同様ノ条件ヲ以テ労働スルニ至リ更ニ一九一二年秋白人坑夫カ米國坑夫同盟會 (United Mine Workers of America) 後援ノ下ニ合衆國沿岸炭山労働者ト相呼応シ同盟罷業ヲ行ヒタル際モ同盟會ニ与セス採炭ヲ繼續シ居リ(大正元年十一月九日附公第一〇一号)同盟會ヨリノ圧迫ハアリタルモノ一方会社ハ邦人坑夫ニ対シ一層好感ヲ有スルニ至リタリ故ニ「カムバーランド」ニ於ケル邦人坑夫カ漸次其ノ地盤ヲ確立シ來リタル歴史ハ白人坑夫同盟罷業ヲ行フ毎ニ歩ニ歩漸次ニ会社ノ信用ヲ得今日ヲ致シタルモノニシテ会社側ニ在リテモB・C・州ニ於ケル自余ノ炭坑会社ハ全然邦人ヲ使備セサルニ独リ依然トシテ之ヲ使備スルハ邦人就働ノ歴史古クシテ已ニ端緒ヲ二十余年前ニ發シ其ノ間会社ニ対シテ忠実ナル終始一貫セルヲ以テ一方白人罷業牽制策トシテ之ヲ使備スルモノナリト見ルヲ得ヘシ更ニ又炭坑内外雜労働ニ從事スル邦人一日八時間ノ賃銀ハ最低一弗四十仙ヨリ一弗七十五仙ノ間ニシテ多クハ一弗七十五仙ヲ給セラル(支那人亦同シ)白人ハ二弗八十五仙ヨリ三弗五十仙迄ニシテ平均三弗ナリト言フ此点ハ大ニ区别的待遇ヲ受ケ居ルモ事實ハ採炭坑夫トシテ就働セシメ雜労働ニ從

事スル者少ナシト云フ会社側ヨリ邦人坑夫ニ対スル批評ヲ聞クニ坑夫トシテモ又其ノ労働力ニ於テモ敢テ白人坑夫ニ劣ラス況ンヤ白人坑夫ノ如ク利益ヲ追フテ転々スル所謂渡り者尠ク新ラシキモ両三年古キハ二十余年ノ長年月就働シ經驗ニ富ム其ノ欠点ハ英語ヲ能クセサルモノ少カラズト

坑夫免状 (Miners' Certificate)

元來坑夫ハ州法ニヨリテ試験ヲ行ヒ坑夫免状ヲ有スルニ非レハ発掘ニ従事スル能ハサル規定ニシテ茲ニ坑夫ト称スルハ手又ハ機械ニヨリ固体ヨリ石炭ヲ切斷シ、剪斷シ、折裂シ奪離スル為メ炭坑地下労働ニ従事スル一切ノ者ヲ言ヒ坑夫タルノ試験ハ各炭坑ニ於テ普通坑夫委員ト称セラルル試験委員ニヨリ各月行ハルルモノニシテ試験委員ハ炭坑内坑夫之ヲ選舉シ炭坑主ニヨリ任命セラレ政府又之ヲ任命スルモノトス然レトモ事實ハ白人邦人支那人共ニ免状ヲ有スル者少ナシ蓋シ会社ハ免状ノ有無ニ拘ラス坑夫ノ実力ヲ尚ヘバナリ

一、結論

同炭坑会社ニ於ケル今回ノ東洋人排斥問題ハ其ノ帰因スルトコロ実ハ地方党略上ノ問題タルカ如シ即チ先般補欠選挙

ニ際シ晚香坡市選挙区ニ於テ自由党员「マクドーナルド」カ東洋人労働者排斥ヲ標榜シ例ヲ晚香坡島鉸山地域即チ「カムバーランド」ニ於ケル加奈陀炭坑会社ニトリ同会社カ東洋人ヲ使備シテ白人労働者ノ職ヲ奪ヒ鉸山条例ヲ無視シテ信号モ警告ヲモ判読スルコト能ハサル東洋人労働者ノ多数ヲ使備スルハ明カニ違法行為タリ仮リニ白人労働者問題ヨリ離レテ之ヲ觀察スルモ吾人ハ不幸ニシテ近時晚香坡島同炭坑ニ於テ人命保護ノ為メ極度ノ注意ヲ要ス若シ夫レ同炭坑ニ就働スル東洋人ノ數ニ至リテハ第六坑地下就働者二百三十人中其ノ七割五分ハ日本人ニシテ残余ハ支那人第七坑ニ三百人中二百二十七人ハ支那人ニシテ六割ヲ占メ第四坑ニ在リテハ三百五十人中二百五十人中其ノ八割ハ支那人及日本人ナリ若シ之ヲ經濟上ノ見地ヨリ言フモ同炭坑ニ於テ支払ハルル賃銀ノ五分ノ三ハ凡テ東洋人ナリ此形勢ニシテ底止スルコト無クムハ之レ等諸方面ノ商業ハ漸次東洋人ニ勢力ヲ移スニ至ルヘク一九一五年十一月十二月ノ兩月中「カムバーランド」市ニ送ラレタル貨物中四割八分ハ支那人二割一分ハ日本人ニシテ僅カニ其ノ三割一分カ白人ニ対スルモノトス蓋シ之レ単ニ「カムバーランド」ニ止マラス

テハ好感ヲ抱クモノナリ白人労働者ノ同盟罷業ニ対スル牽制策トシテ使備スルモノナリ曾テ一九一二年同会社ニ於ケル白人坑夫同盟罷業ノ結果ハ罷業ヲ企テタル白人坑夫ニ対シテ会社ノ態度極メテ強硬ナリキ「カムバーランド」ハ一時不穩ノ状態ニ陥リ州政府ハ秩序維持ノ為メ騎馬巡查ヲ派遣シ同年末全ク鎮靜ニ歸シタルニ坑夫同盟会ハ会社ニ対シ其ノ主張ノ貫徹セサルヲ見テ州政府ノ攻撃ニ移リ州政府ハ資本家ニ厚ク労働者ニ薄シトス當時自由党機關紙ハ保守党内閣ハ州ノ利源開發ヲ東洋労働者ニ委シ白人ヲ圧迫スルコト夥シ等論難非議セシカ遂ニ何等ノ効果ヲ表ハササリキ素ヨリ会社カ東洋人ヲ使備スルハ全ク經濟上ノ理由ニ基ク故ヲ以テ仮ニ邦人坑夫カ白人坑夫ト同一ノ地歩ニ立チタラムニハ何ヲ苦ンテ白人坑夫ノ反感ヲ買ヒツツ東洋人ヲ使用スルノ愚ヲ成サムヤ

要之同会社ニ就働スル邦人ハ会社ト由来密接ナル關係ヲ有シ現今ニ在リテハ其ノ在留セル状態ヨリ察スルモ白人労働者對本邦労働者關係ニ於テ当館管轄内軽々ニ看過シ得ヘカラサル地位ヲ占ム

「ナナイモ」、「レデースミス」南「ウエリントン」ニ於テモ亦然リ斯ノ如クニシテ白人ノB・C・州ト称スルヲ得ヘキ乎政府ハ委員ヲ設ケテ之カ調査ヲナシタルモ一般ヲ満足セシムル効果ヲ擧ゲ得タルコトアリヤト痛烈ナル攻撃ヲ加ヘテ東洋人ノ排斥ヲ言議シ選挙ノ結果ハ保守党中心地タリシ「ヴィクトリア」晚香坡市ニ於テ自由党ノ為メニ破ラレタルハ現保守党当局者ニ対シテ尠カラサル打撃タラズムハアラズ而シテ「ロックスランド」選挙区ニ於テ僅カニ輿望ヲ保チ得タル「ローン・キャンベル」ハ現ニ前首相ノ兼任ヲ継承セル鉅務大臣タリ総選挙ハ目睫ノ間ニ迫レリ人心ヲ収攬シテ衆望ヲ集メサルヘカラス此ニ於テ乎党略上人心収攬ニ對シテ最モ好個ノ題目ヲ扱フノ要アリ曩ニ「マクドーナルド」カ晚香坡島ニ於ケル炭坑会社ヲ例証シテ東洋人排斥ヲ唱導シタルハ確カニ選挙民一部即チ労働者階級ノ欲心ヲ贏チ得タルモノト見ルヲ得ベケム即チ州政府ハ開會中ノ州議會ニ於テ鉸山条例ヲ改正シ何等カノ形式ニヨリ東洋人ヲ排斥セムトスト伝フ同炭坑会社カ「カナデアン、ノルザー」鐵道会社ノ有ニ歸シ居ルハ前述ノ如シ今回ノ問題タル幸ヒニ会社自身ハ寧ロ前陳ノ理由ヨリシテ邦人坑夫ニ對シ

八 「カナダ」ニ於テ本邦移民排斥關係一件 二六四

二八八

二六四 五月二十七日 在ヴァンクーヴァー阿部領事ヨリ
石井外務大臣宛

B・C・州議會ニ於ケル排日法案報告ノ件

機密公第一三号 (六月十九日接受)

大正五年五月二十七日

在晚香坡

領事 阿部 嘉八(印)

外務大臣男爵 石井菊次郎殿

目下開会中ノ当B・C・州議會ニ於ケル法案中別紙添附第一号B・C・州ニ於ケル造船業奨励並ニ海運業関ニスル“British Columbia Shipping Act”第四十四条第一項(b)及(c)ニ於テハ

(b) White labour only shall be employed in the construction of the ship.

(c) White labour shall be employed in the operation and maintenance of the ship as regards officers and seamen:

トノ規定アリ右ハ明カニ日本労働者ヲ排斥スルノ条項ナルヲ以テB・C・州政府ノ注意ヲ喚起シ右条項ヲ削除セシメ

来ル総選挙ノ下準備トシテ労働者ノ歎心ヲ求ムル一策トシテ右条項ヲ附ケ加ヘタルモノニシテ敢テ日本労働者ヲ排斥スルカ如キハ政府ノ方針ニアラス等説明ヲ与ヘ居リタルモ本官ハ飽ク迄其ノ不当ナル所以ヲ縷述シテ相別レタリ惟フニ首相「パウザー」及其ノ周圍ニ在ル保守黨議員等ハ党争以外殆ント何物ヲモ考慮ニ置カズ若シ幾干ニテモ人氣ニ投スルコトヲ得ル場合ニハ如何ナル手段ヲモ敢テスル例ナルニヨリ本件ノ如キ不条理極マル法案ニテモ或ハ之ヲ通過シテ白人労働者ノ歎心ヲ求ムルコト無キヲ保シ難シスル場合ニ於テハ已ムヲ得ス本件ハ加奈陀中央政府ノ問題ト為スノ外無之ト被思考候

右及報告候 敬具

本信写送附先 在オタワ総領事 在英大使

註 別紙省略

二六五 五月二十九日 在ヴァンクーヴァー阿部領事ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

東洋人労働者排斥ニ関スル新船舶法ニ関スル報

告ノ件

号外 (五月三十日接受)

八 「カナダ」ニ於テ本邦移民排斥關係一件 二六五 二六六

二八九

ムカ為メ本月二十二日美府へ出張首相「パウザー」氏ニ面会シ前記造船法案中日本労働者ヲ排斥スルノ条項アルコトカ甚タシク不都合ナル所以ヲ指摘シテ其ノ注意ヲ喚起シタルニ同氏ハ本問題ハ未タ再考ノ余地アルニ付数日ノ猶予ヲ与ヘラレタシト答ヘタルニ依リ其ノ儘美府ニ滞在シ爾來其ノ成行ヲ注視シ居タルカ同法案ハ毎日議事日程ニ上レトモ常ニ後廻シトナリテ議題トナラス政府当局ニ於テモ熟考シ居ル有様ナルヨリ本月二十五日再ヒ首相ニ面会シ同法案ニ対スル政府ノ方針ヲ聞キ合セタルニ同氏ハ本件カ未タ何等纏マリタル意見ニ到達セス不日閣議ヲ開キテ執レトモ決定スル旨回答シタルニ依リ本官ハ別紙第二号ノ通り覚書ヲ調製シテ同氏ノ手許ニ残シ白人労働者ナル用語カ敵国人タル独逸人ヲ含ムニ不拘却テ同盟国人タル日本人ヲ排斥スルコトトナリ甚タ不当ナルコトヲ指摘シ且日加親善ノ今日斯ル排日法案ノ通過カ頗ル不都合ナル所以ヲ述ヘテ同法案ノ排日条項存置ニ関シ極メテ明白ニ且強硬ニ抗議ヲ提起シ本案ニ関シ同氏ノ再考ヲ切ニ促シ置キ候首相ハ右ニ対シ元來造船船奨励法ハ公金ヲ支出シテ船舶製造工業ヲ奨励スルモノナルカ故ニ自国労働者ヲ優遇スルコトノ正当ナル所以ト次ニ

Third reading passed of act cited British Columbia Shipping Act, wherein clauses provide that white labour only shall be employed in Construction of Ship and that white labour shall be employed in operation and maintenance of ship as regards officers and seamen. Bill awaits assent of Lieutenant Governor which probably given to-morrow, Tuesday, when House expected to dissolve.

Ottawa 済

Abe.

二六六 五月三十日 在ヴァンクーヴァー阿部領事宛(電報)

新船舶法成立防止ノ為措置方訓令ノ件

第七号

貴電号外ニ関シ斯ノ如キ法律ノ成立セントスルハ帝國政府ノ最モ遺憾トスル処ナルニ付尚余地アルニ於テハ先方官憲ノ注意ヲ喚起シ本法律ノ成立ヲ防止スル様至急機宜ノ手段ヲ執ラルベシ

八 「カナダ」ニ於テ本邦移民排斥關係一件 二六七 二六八 二六九

二九〇

二六七 五月三十日 石井外務大臣ヨリ
在オタワ矢田総領事宛(電報)

新船舶法成立防止ノ為措置方訓令ノ件

第四号

東洋人労働者ヲ排斥スル英領コロンビヤ新船舶法ニ関スル
阿部ノ電報ニ関シ如キ法律ガ成立セントスルハ帝國政
府ノ最モ遺憾トスル処ナリ貴官ハ貴地政府ニ對シ右法律ノ
成立セザル様至急機宜ノ措置ヲ執ラレタシ

二六八 五月三十日 在ヴァンクーヴァー阿部領事ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

B・C・議會ニ於イテ新船舶法ノ東洋人排斥

規定削除ノ件

第二号外

(五月三十一日接受)

号外ニ関シ

Governor returned bill House for reconsideration and clauses in question are now entirely struck out. Ottawa 濟

Abe.

二七〇 六月一日 在ヴァンクーヴァー阿部領事ヨリ
石井外務大臣宛

B・C・州議會ニ於ケル排日法案ニ付報告ノ

件

機密公第一四号

(六月二十六日接受)

大正五年六月一日

在晚香坡

領事 阿部 嘉 八(印)

外務大臣男爵 石井菊次郎殿

州政府ノ補助ヲ受クル造船業ニ従事スル労働者並ニ其ノ海
員ハ白人タラサルヘカラストイフ排日條項ヲ有スルB・

C・州船舶法案ガ目下開會中ノB・C・州々議會ニ於テ討
議中ナリシ旨ハ本年五月二十日附機密公第一三号ヲ以テ報
告申進置候然ルニ五月二十六日所用ヲ帯ヒテ帰晚シ再ヒ二
十九日「ヴィクトリア」市ニ出張同案ノ成行ヲ取調ヘタル
ニ同案ハ五月二十六日委員會調査ノ結果トシテ原案賛成ノ
旨ヲ議會ニ報告採用セラレ翌二十七日第三議會ヲ通過シ唯
州知事ノ承認ヲ待ツノ次第ニ立到リ居リ余リニ事ノ意外ナ
ルヨリ直チニ首相「パウザー」ニ面會ヲ求メタルモ多忙ナ

八 「カナダ」ニ於テ本邦移民排斥關係一件 二七〇

二六九 六月一日 在ヴァンクーヴァー阿部領事ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

B・C・州議會解散ノ件

第二一号

B・C・州第十三議會ハ五月三十一日満期解散セリ総選舉
ヲ控ヘタル本議會ニ於テハ恐ラク党略トシテ東洋人排斥問
題ノ討議セラルヘキヲ予想セラレタルカ先ツ日本人炭坑夫
ヲ排斥スル法案ハ其ノ發議前ニ之レヲ防止シタルモ州政府
ノ補助ヲ受クル船舶ノ建造ニ従事スル労働者及其海員ハ白
人タラサルヘカラスト云フ條項ヲ有スル造船補助法案ハ我
カ強硬ナル抗議ニ拘ハラス遂ニ第三議會ヲ通過セシモ最後
ノ手段トシテ州知事ノ注意ヲ喚起シタルニ知事ハ直チニ教
書ヲ議會ニ送リテ其ノ再考ヲ促シ結果五月三十日ノ討議ニ
於テ白人使用云々ノ條項全部ヲ削除スルニ至レリ首相ハ其
ノ理由トシテ日本領事ノ抗議ト英國政府ノ忠言トニ依ルモ
ノナリト發表セリ右ノ外排日法ト認ムヘキモノナシ總選舉
ハ八月九日ナラント

在英大使オタワ總領事ヘ転電セリ

リトノ故ヲ以テ面晤ノ機ヲ得ズ本件ハ甚ダ憂慮スヘキ程度
ニ達セルヨリ即刻拙電号外ヲ以テ貴閣ニ達シ置キ候ト同時
ニ同様ノ電報ヲ在オタワ總領事ニ發シ其ノ尽力ヲ求メタル
次第ニ候一方州知事「バーナード」氏ト昵懇ナルヲ幸ヒ最
後ノ手段トシテ同官ノ注意ヲ喚起セムカ為メ同日午後六
時同市ユニオン俱樂部ニ於テ面會ノ上問題ノ排日條項カ明
カニ日加條約ニ違反スル旨ヲ指摘シ考慮ヲ促シタルニ同氏
ハ之ニ答ヘ若シ当方ノ見解通り條約ノ條項ニ違反スルモノ
トセハオタワ政府ニ於テ之ヲ否認スルコトヲ得ヘク且又其
ノ例モ尠カラサルニ付斯クナシテハ如何ト語リタルヲ以
テ本官ハ斯ノ如キ明カニ排日條項ヲ有スル法律カ當B・
C・州議會ニ於テ成立スルコト甚ダ遺憾ニ堪ヘサル旨ヲ
繰リ返シ更ニ同氏ノ考慮ヲ求メタル結果翌日政府ニ來訪ア
リ度猶書面ニ當方所見ノ趣意ヲ認メ差出サレ度旨申出同日
ハ再會ヲ約シテ相別レ候然ルニ同夜州議會議長「エバー
ツ」本官ニ面會ヲ求メ面語シタルニ同氏ハ首相「パウザ
ー」ノ内意ヲ受ケ極メテ非公式ニ且又内密ノ義トシテ本件
ハ來ル州議會總選舉ヲ眼前ニ控ヘ保守党ニ採リテハ其ノ党
略上頗ル重要ナルモノアリ今此條項ヲ變更スルハ政府ノ立

二九一

場トシテ甚タ困難ナルヲ以テ今回ハ之ヲ黙視セラレ度然ラハ総選挙ノ結果保守党ガ政權ヲ獲ムコトハ疑ナキ所ナルヲ以テ其ノ際誓テ本条項ヲ削除スヘシト切言シタルモ本官ハ元ヨリスル奇怪千万ナル申出ヲ容認スルモノニアラズ同氏ニ対シ本問題ハ既ニ帝國政府及在オタワ総領事ヘモ報告ヲ了シ居リ將又斯ル不当ナル法律ノ成立ヲ見ルコトハ帝國政府ノ到底黙視スルコト能ハサル旨ヲ強硬ニ主張シ尚進シテ本件ガ明カニ条約違反ナルコトヲ指摘シ若シ州政府ガ本法ヲ制定スルニ於テハ必ズオタワ政府ノ故障ヲ受ケ造船奨励ヲ目的トスル法律ソレ自身ノ目的ヲ達スルコト疑ハシク本法ノ成立ヲ期待シ造船業ヲ企画シツツアル企業家ニ対シ多大ノ損失ヲ与フルコト無キヲ保シ難シト語りタルニ同氏ハ大ニ凝思シタル態度ヲ以テ斯ノ如キ排日条項ガ如何ニモ不条理ナルコトヲ認容シ必ズ本条項撤廃ニ就テ相当ノ尽力ヲナスヘキ旨ヲ約シ議場ニ入り候果シテ首相ヲ差招キ長時私語ヲ交ヘタル末首相ハ本官ガ既ニ其ノ席ニ在リタルニ氣付キ来リテ同日ハ朝来各種ノ代表者面会ヲ求メ来リテ甚タ多忙ナリシ為メ遂ニ面語ノ機ヲ得ザリシヲ遺憾トスル旨挨拶ヲ為シ本件ニ関シテハ明朝知事ト打合せヘキ筈ナルカ

見ルニ至リ候

右及報告候 敬具

本信写送付先 在オタワ総領事 在英大使

註 別紙省略

二七一 六月一日 在ヴァンクーヴァー阿部領事ヨリ
石井外務大臣宛

B・C・州議會ニ於ケル排日法案ニ関シ報告

ノ件

機密公第一五号 (六月二十六日接受)

大正五年六月一日

在晚香坡

領事 阿部 嘉八(印)

外務大臣男爵 石井菊次郎殿

排日条項ヲ有スルB・C・州船舶法案カ第三議會ヲ通過シ僅カニ州知事ノ承認ヲ待テツツアリシ際州知事ニ面会シ右条項カ明カニ日加条約違反ノ旨当方ノ所見ヲ書面ニ認メ同官ノ手許ニ差出シタル件ハ本月一日附機密公第一四号ヲ以テ申進候通りニ有之候然ルニ五月三十日附州知事秘書官ヨリ知事ノ意ヲ享ケタル別添書翰ヲ送り越シ当方ヨリ抗議

八 「カナダ」ニ於テ本邦移民排斥關係一件 二七一 二七二

聞クトコロニ依レハ貴官モ知事ニ面会ストノ事ナレハ其ノ際双方ニ満足ナル解決ヲ見ルヘシト語り本官ハ右ニ対シ本件ハ頗ル重要問題ニシテ斯ル日本人ニ対シテ差別的待遇ハ本官ノ断シテ黙視シ能ハサル旨ヲ述ヘ切ニ同氏ノ熟考ヲ促シ当夜ハ其ニテ相別レ申候翌朝十一時三十分知事ヲ政庁ニ訪ヒタルニ偶々首相「パウザー」坐ニアリテ三人鼎坐ノ際本官ハ予メ用意セル別紙覚書ヲ知事ニ手交シタルニ知事ト首相トノ間ニハ既ニ本件ニ関シ打合せアリタルモノノ如ク知事及首相ハ異口同音ニ本官ノ抗議ヲ申込ミタル問題ノ排日条項ハ全然之ヲ船舶法案中ヨリ削除スヘキ旨本官ニ明言セシヲ以テ本官ハ知事ノ取計ニ対シテハ甚タ満足ナルノ意ヲ述ヘ且ツ首相ニ対シテハ本日午後開会早々其ノ手続ヲ採ラレタキ希望ヲ述ヘ相別レ候

同日午後ハ開会前ヨリ議場ニ至リ本件ノ成行ヲ監視シ居リシニ午後三時開会ヲ宣スルヤ第一着ニ首相「パウザー」ヨリ船舶法案ニ関シ同法案第四十四条(b)及(c)ノ両項ヲ削除スヘシトノ州知事ノ教書ヲ議長ニ報告シ議長ハ議員ニ其ノ賛成ヲ求メ直チニ之ヲ削除スルコトノ決議ヲナシ斯クシテ本件ハ幾多ノ曲折アリタルニ不拘遂ニ当方ノ主張通り解決ヲ

セル各条項ニ関シテハ同法案ノ修正ヲ行ヒ全部削除スヘキ旨首相ヨリ州知事ニ対シ申達有之候趣回答有之候ニ付御參考迄ニ別紙写茲ニ供貴覽候間御査閲相成度候 敬具

本信写送付先 在オタワ総領事 在英大使

註 別紙省略

二七二 六月二日 在ヴァンクーヴァー阿部領事ヨリ
石井外務大臣宛

B・C・州第十三議會解散ノ件

公第一二八号 (六月二十六日接受)

大正五年六月二日

在晚香坡

領事 阿部 嘉八(印)

外務大臣男爵 石井菊次郎殿

B・C・州第十三議會ハ本年五月三十一日ヲ以テ滿期解散セリ先是議員ノ任期ニ関シ疑義ヲ生シタルカ今期制定ノ特別法ニ拠リ本年五月三十一日ヲ以テ其ノ任期滿了スルコトトナリタルヲ以テ各議員ハ当然同月同日限り任期滿了スルコトトナリ從テ議會モ亦当然ノ結果トシテ同日若クハ同日以前ニ解散スヘシト予期セラレ居リシカ果シテ五月三十日

午後九時州知事ノ臨場ヲ待チテ同会期中ニ制定シタル各種ノ法案ニ對シテ其ノ承認ヲ求メテ閉会シ引續キ直チニ議會一日ノ解散ヲ見ルニ至レリ

本議會ハ本年三月二日開会以來約三ヶ月ニ亘レル長期ノモノニシテ殊ニ総選挙ヲ控ヘ居ルカ為メ重要ナル各種ノ法律制定セラレタリ即内最モ重要ナルモノヲ挙グレハ

- (一) 禁酒法婦人選挙権法ハ、來ル総選挙ノ際選挙民ノ贊否ヲ求メ若シ贊成者多数ナル場合ハ來年即チ一九一七年七月一日ヨリ効力ヲ有スルコトナルヘク不尠世上ノ問題トナレリ
- (二) 造船補助法ハB・C・州ニ於ケル造船業ヲ補助セムトスルノ法律ニシテ
- (三) 労働者賠償法ハ労働者病災ノ際保険金ヲ与ヘムトスル州設保険ヲ規定セルモノ
- (四) 太平洋大東鉄道(Pacific Great Eastern R'y.)ヲ「フォートジョージ」迄完成セムトスル補助法モ世論喧シキモノアリ其ノ他
- (五) 農業資金法
- (六) 農務省特設法

、ライセンス、コンミツショナース Board of Licence Commissioner ノ會議開カルベキヲ以テ其ノ形勢ニ付本官ハ數日前市長ニ面会ノ上其ノ模様ヲ聴取シタルニ市長ノ答フルトコロニヨレハ委員四名中三名ハ此際東洋人ノ排斥ニ熱心ナラサルモ他ノ一名ハ必ス排斥ヲ主張スヘシ然レトモ結局排斥ヲ否トスル方多数ナルヲ以テ憂慮スヘキ結果ヲ見サルヘシト

本官ハ更ニ本件カ東洋人ナル名称ノ下ニ日本人ヲモ排斥スルニ至ルノ不都合ナル旨ヲ述ヘテ市長ノ尽力ヲ求メテ相別レ一方旅館業者ヲ通シテ其ノ形勢ヲ探聞セシニ市長ノ言ヘルカ如ク恐ラクハ東洋人排斥ノ事ナクシテ終ルヘク殊ニ日本人ハ我英國トハ同盟国人ナルヲ以テ之カ排斥ヲ敢行スルカ如キコト万之レ無カルヘシトノ樂觀說ヲナスモノアリ一方之ト反對ニ現市長ハ労働者側ニ贊助シ何事ニヨラス同組合ノ鼻息ヲ窺フヲ常トシ本件ノ如キモ他ノ委員ヨリ市長自身寧ロ熱心ニ排斥ヲ主張スルヲ以テ其ノ成行ハ一層面白カラサルヘシトナス者アリ孰レニセヨ形勢稍々不安ノ点アリ依テ本日午後三時開会ノ筈ナリシヲ以テ渡辺書記生ヲ派シテ議場ノ形勢ヲ監視セシメタリシニ果シテ委員四名中三名

(四) 鉸業奨励法

(六) 出征帰還軍人ホームステッド法
等ナリトス幸ヒニ苟日本人ニ對シ不利益ナル差別的法案ハ一モ制定セラルルニ至ラスシテ了レリ別紙新聞紙切抜相添ヘ此段及報告候 敬具

本信写送附先 在オタワ総領事 在英大使

註 新聞切抜省略

二七三 六月二十二日 在ヴァンクーヴァー阿部領事ヨリ
石井外務大臣宛

ヴァンクーヴァー市旅館従業員排斥ニ関スル件

スル件

機密公第一七号 (七月十四日接受)

大正五年六月二十二日

在晚香坡

領事 阿部 嘉 八(印)

外務大臣男爵 石井菊次郎殿

本件ニ関シ本年三月十六日附公第六三号本年三月二十一日附機密公第三号竝ニ同月同日附公第六六号拙信ヲ以テ申進置候処本件ニ関シ本月本日当市市役所ニ於テボード、オブ

ハ排斥案ニ熱心ナラサリシモ一名ノ委員ハ熱心ニ之ヲ主張シ当地白人労働組合及婦人就職周旋同盟会ノ代表者共ニ議場ニ於テ本件東洋人排斥ヲ痛論シボードハ遂ニ本年十二月三十一日以降旅館ニ東洋人使用ヲ禁止スヘシトノ決議ヲ通過シタル旨渡辺書記生ヨリ急報ニ接シ候ニ付本官ハ直チニ議場ニ馳セ付ケタルニ幸ヒ他ノ議事ニテ會議未タ全ク終ラサリシ以前ナリシヲ以テ本官ハ臨席セル当市警察署長ヲ通シテ市長ニ會議終了前ニ委員諸氏ニ一言シ度シト申込ミ置キタルトコロ午後七時頃議事ノ將ニ終了セムトセシ時市長ハ本官ヲ廳キタルヲ以テ先ツ

(本官) 本委員会カ本年十二月三十一日以降当市旅館ニ

亞細亞人使用ヲ禁止スルノ決議ヲナシタルハ事

実ナリヤ

(市長) 然リ

(本官) 然ラハ亞細亞人ナル用語ニハ日本ヲ包含スルヤ

否ヤ

(市長) 同用語ハ日本人ヲ包含ス

(本官) 然ラハ本委員会ハ旅館ニ就働スル日本人ヲ排斥

スルノ趣意ナリヤ

(市長) ソハ委員会ノ趣意ナリト思考ス

(本官) 然ラハ日本ハ現ニ英帝國ノ同盟國ナルヲ御承知ナリヤ

(市長) 然リ

(本官) 然ラハ更ニ問ハム貴下ノ上ニ掲クル日本ノ国旗ハ何ノ為ナリヤ

(市長) 答ヘス

(本官) 余ハ委員諸君ニ對シテ日本カ如何ニ現下ノ歐洲戰爭ニ於テ重要ナル任務ヲ為シツアルヤヲ述ヘム素ト日本カ独逸ニ對シテ戰ヲ宣シタルハ一日英同盟條約ノ信誼ニ依リタルモノニシテ宣戰ヲ布告スルヤ直チニ陸軍ヲ派シテ青島ヲ陥落シ又我海軍ハ独逸東洋艦隊ヲ南米ノ一角ニ追撃シ英國海軍ヲシテ「フォルクランド」沖ニ大勝ヲ博セシメ現ニ日本海軍ハ太平洋上ノ警備ヲナシツアルニ非スヤ
斯ノ如キ狀勢ノ下ニ諸君カ日本人ヲ排斥スヘキ行動ヲ執ラルルコトハ本官ノ最モ遺憾トスルトコロナリ

禁止ノ條項アリシモ州知事ハ州議會ニ再考ヲ求メ遂ニ之ヲ削除シタルコトアルニ非スヤ今回再ヒ同様ノ問題ヲ惹起スルコト百害アリテ一利ナシ本會議ヲ了ラサルニ先チ是非諸君ノ再考ヲ煩シ日本人排斥ノ條項ヲ撤廢セラレムコトヲ希望シテマバスト

最モ強硬ニ主張シ其ノ席ヲ動カサリシニ委員等ハ密々擬議ノ結果全会一致ヲ以テ曩ノ決議ヲ取消シ先ツ之ヲ市顧問弁護士ニ廻付シ條約違反ナルヤ否ヲ調査セシメ更ニ本月二十七日午後四時特ニ委員會ヲ開催シ本件ヲ討究スルコトナレリ

下宿屋(Rooming House)料理店(Restaurant)及カフェー(Café)ニ於テモ亦東洋人ヲ排斥セムコトヲ市參事會ニ希望スルノ決議ヲ通過シタルモ本件決議案同様ノ運命ニ陥リ懸案トナレリ

右及報告候 敬具
本信写送附先

在オタワ總領事 在英大使

ト述ヘタリシニ市長ハ之ニ答ヘテ

(市長) 委員會ノ決議ハ既ニ通過セシモノナルカ本決議カ市參事會ニ回附セララルル際ハ貴官ノ意見ヲ充分ニ考量スヘシ

(本官) 然ラハ市長ハ何名ノ日本人カ旅館ニ使用セラレツツアルヤヲ御承知ナリヤ

(市長) 知ラス

(本官) 晚香坡市旅館ニ就働スル日本人ノ數ハ僅々四十余名ニ過キス然ルニ是レ等小數者ノ職ヲ奪ハムカ為メニ日本國民全体ノ感情ヲ害スルコトヲ考慮セサルヤ蓋シ本決議カ市參事會ニ於テ通過セサルヘキハ本官ノ確信スルトコロナレトモ本委員會ニ於テ斯カル決議ノ決議セララルコト夫レ自身真ニ遺憾ニ堪ヘス
又日加通商條約ニ於テ在加奈陀日本人ハ最惠國國民ト同等ノ待遇ヲ受クルノ保障ヲ受ケ居ルニ拘ラス東洋人ナル名称ノ下ニ日本人ノ職業ヲ褫奪スルコト即チ本官ノ抗議スルトコロトナリ曩ニ州議會ニ於テ船舶法ノ提出セラレ日本人使用

二七四 六月二十六日

在ヴァンクーヴァー阿部領事ヨリ
石井外務大臣宛

ヴァンクーヴァー市旅館従業員東洋人排斥ニ関

スル新聞論調報告ノ件

公第一六〇号

(七月十四日接受)

大正五年六月二十六日

在晚香坡

領事 阿部 嘉 八(印)

外務大臣男爵 石井菊次郎殿

本件ニ関シ本年本月式拾貳日附機密公第一七号ヲ以テ報告ノ次第有之候処当地發刊英字新聞中六月式拾六日ニユース、アドヴァタイザー News Advertiser 紙ハ其社説欄ニ於テ「Delicate questions」ト題シ

晚香坡ニ於ケル旅館ニ労働スル亜細亞人ヲ排斥スルノ件ニ對シ支那領事ハ日本領事ト同様ナル抗議ヲナセリ吾カ同國人タル東印度人ヨリハ更ラニ強硬ナル抗議ヲ受クルヤモ凶ラレス今日ハ斯ル問題ヲ惹起スベキ時期ニ非ラス成ルヘク之レヲ避ケサルヘカラス委員諸君ハ幸ヒニ本件ニ注意ヲ払ヒタリ吾人ハ日本人カ亜細亞ニ於ケル英國臣

民ト同様ノ取扱ヒヲ受クル場合ニ日本カ果シテ有力ナル
抗議ヲ為スコトヲ得ルモノト信セス且又日本ハ日英同盟
條約ニヨリ今時ノ戰爭ニ参加スヘキ義務ナキモノニシテ
日本國ノ利益ト独逸國ニ對スル紛争ノ結果之レニ参加シ
タルモノナル事吾人ノ知ル所ナリ然シナカラ事實ノ問題
トシテ吾人ハ日本國ト交戦同盟ノ干係ニアリ支那トハ友
邦ノ干係ニアリ東印度トハ同國人ナリ戦時ニ於テハスカ
ル國際干係ニ及ホスヘキ問題ハ例ヘ法律上ノ權利アル場
合ト難モ充分慎重ナル考慮ヲ用ユルヲ以テ策ノ得タルモ
ノトナスヘシ」

又ウォールド「The World」紙ハ六月式拾六日ノ紙上社説欄
ニ於テ「旅館ニ於ケル亞細亞人」ト題シ

ボード、オブ、ライセンズ、コンミッシヨナース Board
of Licence Commissioners ニヨリテ提起セラレタル他
ノ亞細亞人同様日本人ヲモ旅館ニ於ケル賃役 Employ-
ment ヨリ排斥セントスル企画ハ晚香港在留日本人ノ感
情ヲ痛切ニ刺激セリ日本人ハ英國ノ同盟國人トシテ特別
ノ待遇ヲ受クヘキ資格アルコトヲ主張シ且ツ戰爭開始當
時英國軍艦カ他方面ニ於テ任務ニ従事シ居ル時日本軍艦

テハ日本國ニ於テスラ其労働者社会ニ於テハ之レカ排斥
ヲ熱心ニ唱道セララル程ナリ此回ライセンズ、ボード

Licence Board ノ措置ニ對シテハ支那領事ノ抗議スル
所トナリ同領事ハ倫敦駐劄支那公使ヲ經テ英國政府ニ訴
フヘシト声明シタルガ右抗議ノ如キハ一見重大事件ナル
カ如キモ然ラス蓋シ斯カル抗議ハ之ヲ処理スルカ為メオ
タワニ返附セラルヘキモノナリ、ソハ兎ニ角之等ノ抗議
ハライセンズ、ボードカ其目的ヲ達スルニ或ル他ノ間接
ナル方法即チ特ニ人種若クハ國家ヲ明示スルノ必要ナキ
方法ヲ発見シ得サルヤ否ヤノ問題ヲ提起セリ云々

右新聞切抜相添此段及報告候 敬具
送付先 在オタワ総領事

在英大使

註 新聞切抜省略

二七五 六月二十八日 在ヴァンクーヴァー阿部領事ヨリ
石井外務大臣宛

ヴァンクーヴァー市旅館従業員東洋人排斥二閱
スル件

機密公第一八号 (七月十四日接受)

八 「カナダ」ニ於テ本邦移民排斥關係一件 二七五

カ当海岸ヲ防護シタル事ヲ指摘シテ彼等ニ不利益ナル差
別的取扱ハ日本ニ於テ國民ノ感情ヲ阻害スル事至大ナル
ヘキヲ確認セリ

吾人ハ右ノ主張ニ有力ナル論拠ノ存スル事ヲ否認スル事
能ハス我同盟國人タル日本人カ吾カ同國人タル英領東印
度人ヨリ劣等ナル待遇ヲ受クル事ナシト弁解スルコトヲ
得ヘケンモ之レ畢竟議論ニ過キス日本人ハ感情的國民ニ
シテ英國ト同盟國タル事ヲ誇リトナシ此ノ同盟ノ條約ニ
忠実ナルコトハ戰場ニ於テ之ヲ実証セリ斯クノ如キ事情
ノ下ニ事件其ノモノカ極メテ小ナル当地ノ旅館ニ於ケル
彼等ノ労働ヲ禁止スルカ如キ事ハ無期限ニ之レヲ延期ス
ルヲ可トスヘシ

之レカ影響ヲ蒙ル日本人ハ概算四十名以下ニシテ斯ク少
数ノ為メニ同盟國ノ感情ヲ毀傷スルカ如キハ無用ノ事ナ
リ
支那人ニ関シテハ事情ヲ異ニスルモノアリ彼等ニ對スル
反対ハ決シテ人種上若クハ政治上ノ理由ニアラスシテ一
ニ經濟上ノ理由ニヨルモノナリ彼等ハ他人種ノ生活態度
ヲ降下セシムルモノニシテ支那人ノ低廉ナル労働ニ對シ

大正五年六月二十八日

在ヴァンクーヴァー

領事 阿部 嘉八(印)

外務大臣男爵 石井菊次郎殿

本件ニ関シ本年六月二十二日附機密公第一七号抽信ヲ以テ
申進置候処拙電第二六号報告ノ通り本月二十七日当市々庁
ニ於テ Board of Licence Commissioners ノ特別會議開
催セラレ本官モ亦之ニ列席シタルカ別添第一号及第二号ノ
通り本件ニ関スル同委員会ノ書記ヨリ当市顧問弁護士
City Solicitor ニ致シタル書面竝ニ同弁護士ヨリノ回答意
見書ヲ朗讀シ六月二十一日ニ於ケル亞細亞人使用禁止ニ関
スル委員会ノ決議ハ何レモ委員会ニ於テ之ヲ決議スルノ權
限無キコト竝ニ此種ノ決議ハ日加條約第一条第三項ノ規定
ニ違反スルコト明カトナレルヲ以テ滿場異議ナク決議ノ全
部ヲ無効トシ之ニ代ユルニ別添第三号ノ通り晚香坡市ノ
Licence ヲ要スル一切ノ營業ニハ今後之ヲ下附スル場合

ニ英國臣民及ヒ英國ト同盟關係ヲ有スル國人竝ニ加奈陀ト
條約ノ存在スルアリテ其ノ規定ニ依リ排斥スルコト能ハ
サル外國人以外ノ者ヲ使用セサルノ条件ヲ附スル旨決議セ

八 「カナダ」ニ於テ本邦移民排斥關係一件 二七六 二七七 二七八

三〇〇

リ右ノ決議ニ依レハ我日本人ハ英國ノ同盟国人タル点ヨリ
スルモ將又日加條約ノ規定ヨリ論スルモ此決議ニ依リ何等
不利益ナル影響ヲ受ケサルコト、ナリ同委員會ニ對スル本
官ノ主張ハ茲ニ其ノ目的ヲ達シタルコト、思考セラレタル
ニヨリ本官ハ右委員會ノ措置ニ對シ満足ノ意ヲ表シ退場致
候

右及報告候 敬具

本信写送先

在オタワ総領事

在英大使

註 別添書類省略

二七六 九月十七日

在ヴァンクーヴァー阿部領事ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

B・C・州総選挙ニテ自由党勝利ノ件

第三八号

九月十四日B・C・州総選挙ノ結果ハ未タ正確ナル数ヲ得
サルモ大勢自由党ノ勝利ニ歸シ首相 Bowser 初メ閣員殆
ント全部落選セリ尤モ出征軍人ノ投票ニ由リ右ノ結果ニ變
更アルヘシト思惟セラル最近ノ結果ハ自由党三十八保守党

九ナリ

二七七 十月十五日

在オタワ矢田総領事ヨリ
寺内兼任外務大臣宛

B・C・州移民禁止令実施延期ニ関スル総督

命令写送附ノ件

通機密第一三号

(十一月十五日接受)

大正五年十月十五日

在オタワ

総領事 矢田 長之助(印)

外務大臣伯爵 寺内正毅殿

本件ニ関シ曩ニ本月六日附通機密第一二号ヲ以テ具報及置
候次第有之候処右ニ関スル総督命令写別紙本日移民総監ヨ
リ接到候ニ付別紙茲ニ及追送候 敬具

本信写送付先 在英大使 在暹香港領事

註 別紙省略

二七八 十一月二十六日

在ヴァンクーヴァー阿部領事ヨリ
本野外務大臣宛(電報)

B・C・州総選挙ノ果結バヴザー内閣総辞職

ノ件

第四六号

往電第三八号ニ関シ本月二十三日其筋ノ公表スル所ニ拠レ
ハ出征軍人投票采着ノ結果前閣員中首相 Bowser 及土地大
臣 Rossノ二人当選シタルモ他ハ何レモ落選シ依然自由党
ノ勝利ニ歸セリ同日 Bowser 内閣ハ総辞職ヲ為シ即日自
由党首領 Brewster 首相ニ任セラレ近日中自由党内閣組
織ノ善ナリ総選挙ノ結果ハ自由党三十七保守党八独立保守
党一社会党一計四十七

「オタワ」済ミ

二七九 十一月二十六日

在ヴァンクーヴァー阿部領事ヨリ
本野外務大臣宛(電報)

自由党ノ政見ニ関シ報告ノ件

第四七号

往電第四六号ニ関シ従来自由党領袖 Brewster 氏ノ発表
シタル政見ヨリ考フルニ邦人関係問題中漁業ニ従事スル多
数ノ日本人ニ對シテハ何等言及セズ唯鉱山労働者ニ對シテ
ハ充分ナル取締ヲ勵行スベキ意向ナリ而シテ世評ニ依レバ
新内閣ノ鉱務大臣ニハ従来邦人炭鉱労働者ニ對シテ悪感情
ヲ有スル地方選出ノ議員ヲ推薦スル模様ナルヲ以テ或ハ多

少此方面ニ排斥ノ運動起ルヤモ計リ難シ只今日ノ情態ニ於
テ一般ニ親日的傾向著シキヲ以テ内閣更迭スルモ俄ニ曩日
ノ如キ排日運動起ラザルベシ

二八〇 十二月一日

在ヴァンクーヴァー阿部領事ヨリ
本野外務大臣宛(電報)

自由党ノブルースター首相新内閣組織ノ件

第四八号

往電第四六号ニ関シ首相 Brewster ハ十一月廿九日自由党
所屬衆議院ノ有力者ヲ以テ新内閣ヲ組織シ州知事ノ任命ヲ
見タリ而シテ鉱務大臣ノ選任ハ往電第四七号報告ノ通りナ
リ「オタワ」済ミ

二八一 十二月五日

在ヴァンクーヴァー阿部領事ヨリ
本野外務大臣宛

邦人問題ニ関スル新内閣ノ態度予想ノ件

機密公第二八号

(大正六年一月四日接受)

大正五年十二月五日

在暹

領事 阿部 嘉 八(印)
外務大臣法学博士子爵 本野一郎殿

八 「カナダ」ニ於テ本邦移民排斥關係一件 二七九 二八〇 二八一

三〇一

今回自由党カ保守党ヲ破リ得タルハ全党カ州ノ政權ヲ掌握セルコト既ニ拾三年ノ久シキニ亘リ而シテ一党カ多年政權ヲ握ルハ自ラ弊害百出ノ虞アリト言フ「サー、チャールズ、タッパー」(Sir. Charles H. Tupper)等ノ保守党選挙反对運動カ大ニ預テカアリタルト同時ニ保守党首領「パウザー」カ前首領「サー、リチャード、マクブライド」ニ比シ衆望ヲ担ハサリシニ帰因スルモノト見ルヲ得ヘク而シテ今回B・C・州ノ政變カ当地邦人労働者排斥問題ニ関シ如何ナル變化ヲ来スヘキヤニ付キ考查スルニ領政府当局者ト州政府当局者トカ同一党派ニ属スル場合ハ万事都合ナルモ領政府当局者ト州政府当局者トカ今回ノ如ク其ノ党派ヲ相異ニスルニ至リタル場合ハ時ニ感情上甚タ円滑ヲ欠キタル例不尠概シテ面白カラサル結果ヲ齎スコトアリ殊ニ新内閣

々員ハ大概曾テ東洋人労働者排斥ヲ称導シタル者ニシテ総選挙ニ際シ東洋人排斥ヲ標榜セシ鉅務大臣ノ如キハ之ヲ政綱ノ一トシテ起チ東洋人排斥熱ノ最モ旺盛ナル炭坑地域「ナナイモ」(Nanaimo) 選出議員ナルカ故ニ選挙民ノ期待ニ対シテモ来ル州議會ニ於テ多少東洋人労働者排斥ノ議論ヲナスヘシト予想セラレ候
乍併現下我帝国ガ英帝国ノ同盟国トシテ共同ノ戦争ニ從事シツツアルノ一事ハ大ニ排斥ノ声ヲ鎮静シ居ル事争ハレサル事實ニシテ歐洲戦争ノ継続中ハ素ヨリ往年ノ如キ極端ナル邦人排斥ノ議論ヲナス者アラサルヘシト思考セラレ候
右及報告候 敬具

本信写送附先 オタワ総領事

事項九 「オーストラリア」ニ於テ本邦移民排斥關係一件

二八二 六月二十四日 在シドニー清水総領事ヨリ
石井外務大臣宛

千九百十五年申ニ於ケル濠洲移民ノ状況ニ関シ報告ノ件

附屬書 千九百十五年濠洲移民出入状況 (八月七日接受)
公第七四号

大正五年六月二十四日 在「シドニー」

総領事 清水 精三郎 (印)

外務大臣男爵 石井菊次郎殿

本件ニ関シ別紙報告書及提出候条御査閱相成度候 敬具

(附屬書)

千九百十五年濠洲移民出入状況

第一、入国移民及入国拒絶

此程聯邦政府ヨリ議會ニ提出シタル移民法施行成績報告ニ依レバ千九百十五年中濠洲ニ入国シタル移民總數ハ七万四百三十六人ニシテ前年ノ十一万七千八百八人ニ比シ大ニ減シ戦

九 「オーストラリア」ニ於テ本邦移民排斥關係一件 二八二

前千九百十三年ノ十四万二千五百一十一人及千九百十二年ノ十六万三千九百九十人ニ比スレバ約半数ニ過ギズ
此内大部分ハ英国人ニシテ六万五千五百五人即チ總數ノ約八割五分以上ヲ占ムルモ前年ノ九万三千四百四十三人、前々年ノ十二万二千四百四十三人ニ比スレバ激減シタルヲ知ルベシ
英国人ニ次グハ支那人ノ二千二百八十七人「スカンディナビア」人ノ千二百二人及北米人ノ千六十六人ナリトス右表中壤洪人、独逸人、土耳其人ノ入国ハ俘虜ナリトス其詳細増減左ノ如シ
千九百十五年中各国人入国數

(+)印ハ前年ニ比シ増加セルヲ示ス

一、歐羅巴人

英吉利人	六〇、五〇五	スカンヂナビ	一、二〇二
独逸人	八九〇	ア人	七一六
伊太利人	六四九	露西亜人	五九五
希臘人	三六一	仏蘭西人	三〇五
西班牙人(+)	二〇六	丁抹人	一八二
		和蘭人	